

# 孔子学院

CONFUCIUS INSTITUTE

中日版 日中版

№6 2023

## 琶洲行 醒狮舞

獅子舞が琶洲を舞う



# 孔子 学院

## 孔子学院

主管：中华人民共和国教育部  
主办：中国国际中文教育基金会

主管：中華人民共和國教育部  
企画・編集：中國國際中文教育基金會

编辑出版：《孔子学院》编辑部  
协办：上海外国语大学  
合作伙伴：日本早稻田大学孔子学院  
总编辑：赵灵山 李岩松  
副总编辑：张君丽 衣永刚  
主编：张雪梅  
副主编：赵裴 张逸岗  
编辑：傅英 余玲华 张熙华  
主审：高洁 江正殷  
审校：张丽丽 于帆 黄蕾

美术设计：陈颖 朱浩晔 王艺潼  
排版：南京展望文化发展有限公司  
印刷：上海叶大印务发展有限公司  
国际连续出版号：ISSN 1674-9693  
国内统一刊号：CN 11-5963/C  
邮发代号：80-752

定价：RMB 16 / JPY 550  
编辑部地址：北京市海淀区学院路 15 号  
邮政编码：100083  
编辑部电话：0086-10-63240631  
网站：www.ci.cn  
上海编辑部地址：上海市虹口区大连西路 550 号  
电话：0086-21-35377068  
投稿邮箱：ci.journal@ci.cn  
刊名题字：欧阳中石  
封面供图：视觉中国

編集出版：『孔子学院』編集部  
共同編集：上海外國語大學  
日中版編集協力パートナー：早稲田大学孔子学院  
総編集長：趙靈山 李岩松  
副総編集長：張君麗 衣永剛  
編集長：張雪梅  
副編集長：趙裴 張逸崗  
編集：傅英 余玲華 張熙華  
主審：高潔 江正殷  
審校：張麗麗 于帆 黃蕾

デザイン：陳穎 朱浩晔 王藝潼  
組版：南京展望文化發展有限公司  
印刷：上海葉大印務發展有限公司  
國際標準逐次刊行物番號：ISSN 1674-9693  
中國國內統一發行番號：CN 11-5963/C  
郵便登錄番號：80-752

定價：16 元 / 550 円  
編集部住所：北京市海澱區學院路 15 号  
郵便番号：100083  
電話番号：0086-10-63240631  
ホームページ：www.ci.cn  
上海編集部住所：上海市虹口区大连西路 550 号  
電話番号：0086-21-35377068  
メールアドレス：ci.journal@ci.cn  
中国語題字（表紙）：歐陽中石  
写真：www.vcg.com



中国国际中文教育基金会

中国国际中文教育基金会

中国国际中文教育基金会

# 目录 / 目錄

№6 2023



## 文化视窗 文化ウインドウ

- 04 追寻岭南文化之光——叩访南越王墓记  
嶺南文化の光を尋ねて——南越王陵訪問記  
作者：吴沫 吳沫
- 12 广东的“味道”  
広東の「味」  
作者：陌上尘 陌上塵
- 18 岭南客家的“擂茶”  
嶺南客家の「擂茶」  
作者：苏慧萍 蘇慧萍
- 22 底蕴深厚的岭南文化  
奥深い嶺南文化  
作者：萝卜丝 蘿蔔絲
- 26 徐行草编  
徐行草編み細工  
作者：徐家行 徐家行

## 汉语学习 中国語学習

- 32 人生中难忘的三十天  
——红溪孔院实习记  
一生忘れられない三十日間  
——紅溪孔子学院実習の記  
作者：张旸 張陽
- 34 马西尼教授的故事  
マッシーニ教授の物語  
作者：张枫茹 張楓茹
- 38 大阪大学的中文话剧团  
大阪大学の中国語劇団  
作者：羽田美佳 羽田美佳
- 42 汉语小知识  
中国語豆知識  
作者：朴用夏 朴用夏
- 44 二十四节气之小暑和大暑  
二十四節気  
作者：何芷翌 何芷翌





---

## 当代中国 当代中国

---

- 48 “花城” 广州  
「花城」広州  
作者：李敏俐 李敏俐
- 54 横琴之行  
横琴の旅  
作者：苏文 蘇文
- 60 傀戏  
傀劇（人形劇）  
作者：黄裕 黄裕
- 64 逐梦未来的粤港澳大湾区  
未来を追いかける粤港澳大湾区  
作者：百茶客 百茶客



---

## 孔院链接 孔院リンク

---

- 68 我在墨西哥讲“粤港澳大湾区”的故事  
メキシコで紹介した「粤港澳大湾区」の物語  
作者：许长青 許長青
- 72 纳赛尔博士的广东情缘  
ナセル博士の広東愛  
作者：李昕阳 李昕陽
- 76 电影文化精彩纷呈  
——中国（广东）影展活动花絮  
盛り上がる文化の祭典  
——中国（広東）映画祭おさらい  
作者：冯伟乐 馮偉樂
- 79 动态播报  
動向速報

# 追寻岭南文化之光

## ——叩访南越王墓记

### 嶺南文化の光を尋ねて

#### ——南越王陵訪問記

在中国对外交流与贸易发展进程中，广州一直扮演着十分重要的角色。她不仅是中国古代海上丝绸之路的发源地，还是世界海上交流史上长盛不衰的港口。广州的南越王墓就以数万件随葬品向人们展示了这座城市2 000多年前的繁盛。

中国が対外交流と貿易で発展してきた過程で、広州は重要な役割を担い続けてきた。この地は中国古代海のシルクロード発祥の地であるだけでなく、世界海上交通史上に於いても長く栄え、衰えを見せぬ港である。広州の南越王陵から出土した数万件の副葬品は、この都市が2000年以上前に相当繁栄していたことを人々に示した。

作者：吴沫 吳沫

翻译：小林干夫 小林幹夫

### 神秘古墓

#### 神秘に包まれた古代の墓

1983年6月9日上午，在广州市越秀区象岗山一处工地，工人们在向下挖掘时，意外发现了一块块排列整齐的大石板，从石板的缝隙间还隐约可以看见黑漆漆的空间，施工当即被叫停。之后，随着广州市文管会考古队紧张、有序的科学发掘，一座封尘了2 000多年的古墓被逐渐揭开了神秘的面纱。

1983年6月9日午前、広州市越秀区象崗山のある工事現場での出来事。作業者が地面を掘り進んでいた際、思いがけず一つ一つきちんと並べられた大きな石板を発見した。その石板の隙間からは真っ暗な空間が薄っすらと見えたため、施工は即座に停止された。その後、広州市文物管理委員会の考古学チームは急ピッチながらも手順に沿った科学的方法で発掘を進め、2000年以上の長きに渡って世俗から隔離された古代陵墓の神秘のベールは次第に開かれていった。

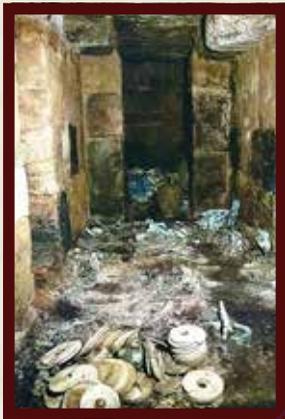


南越王墓原址  
南越王陵出土地点



这座墓室南北长10.85米，东西宽12.5米，高2.1～2.3米，面积约100平方米，分为前后两部分，共有七室，采用了前厅后库的墓葬结构。其中，前部有三室，中间的一间为前室，相当于厅堂，四壁及顶部绘有红、黑两色相间的云纹图案，出土了铁刮刀、组玉佩、铜镜、石砚等文物。东西两侧为耳室：东耳室用于存放宴乐之器，整齐地摆放着三套青铜乐器和两套石编磬；西耳室则摆放了各种用器、药品与珍玩。墓室后部靠前的中室为墓主人的寝宫，其内放置了一棺一椁以及一组精致的漆木屏风，墓主身着成套的丝缕玉衣，躺于棺椁之中，棺椁内外放置有大量玉璧、铁剑以及墓主的其他心爱之物；墓室后部的中后室为储藏室，用于储藏食物、放置炊具和储容器；墓室后部左右为侧室：东侧室为4位妃妾的葬所；西侧室为7位仆役的葬所。

この墓室は長さ南北10.85メートル、幅東西12.5メートル、高さ2.1～2.3メートル、面積は約100平方メートル。前後の二つからなる構造で、全部で7室が設けられ、「前室後庫」の埋葬形式を採っている。前方部分は3室からなり、中間の一室が前室として設けられ、ホールに相当する。四方の壁と天井の採色は赤、黒の二色で雲のデザインが交互に描かれており、ここからは鉄製きざげ、玉の装身具、銅鏡、石硯等の文化遺産が出土している。東西両側は「耳室」と称される部屋があり、東の耳室には雅楽用の楽器が置かれ、三組の青銅器楽器と二組の石製楽器が整然と並べられていた。西耳室には各種の容器や薬品、貴重な骨董、愛玩物が置かれていた。墓室後部前方の中室はこの墓の主の寝室とされ、棺本体一つと外棺一つと精緻に作成された漆塗屏風が置かれ、主は絹糸で貫かれた玉衣を全身に纏い、ひつぎの中に横たわっている。ひつぎの内側と外側には大量の玉、鉄劍の他、主お気に入りの愛玩物が置かれている。墓室後部の中央後部の部屋は貯蔵室となっており、食物の貯蔵に用いられ、炊事道具や貯蔵容器が置かれている。墓室後部の左右には側室となっており、東の側室は4名の側妻が葬られ、西の側室には7名の使用人が葬られている。



南越王墓主棺室  
南越王陵的主棺室

这座墓葬未经盗扰，经过科学发掘，被确认是目前所发现的岭南地区规模最大、随葬品最丰富的汉墓，也是20世纪80年代中国最重大的考古发现之一。

この墓は盗掘によって荒らされていなかった為、科学的発掘作業の結果、嶺南地区に於いて今日まで発見されたものとしては最大規模を誇り、副葬品が最も豊富な漢代墓であると見られる。また、20世紀80年代、中国で最も重要な考古学的発見の一つとして数えられている。



## 墓主为何人 墓の主は誰

这座墓葬藏匿于山岗腹部，出土的各式珍宝让人眼花缭乱，显示墓主身份特殊、拥有巨大的财富和奢华的生活。这不禁让人疑惑：墓主究竟是何人呢？

この墓は丘の中腹に秘匿されたかのように埋葬され、出土した各種の宝物は眼も眩むばかりの品々であり、この墓の主が生前特殊な身分にあり、巨万の富に恵まれ、豪華な生活を送っていた事がしのばれるのだが、さて、この主とは一体誰だったのか？との疑問を抱かずにはいられない。

幸运的是，考古工作者在这座墓葬中发现了墓主身份的凭证——玺印。墓主腰腹处共置有九枚印章，包括“文帝行玺”金印、“帝印”玉印和“赵昧”玉印等。其中，“文帝行玺”金印意义非凡，它是迄今发现的最大一枚西汉金印，也是目前最早的以龙为钮的帝王玺印。“文帝行玺”说明墓主生前为一国之统治者。“帝印”玉印雕琢螭虎钮，尽显王者之气。“赵昧”玉印则显示墓主名为赵昧。目前，多数学者倾向于认为这座神秘古墓的墓主正是南越国的第二位王，亦即南越国开国之君赵佗之孙——赵昧。

幸いにも、考古学チームのメンバーはこの墓の中で、主の身分を示す証拠＝璽印を発見したのだった。主の腰や腹の部位には、「文帝行璽」の金印、「帝印」の玉印、「趙昧」と刻んだ玉印を含む九個の印章が置かれていた。中でも「文帝行璽」金印の意義は桁外れで、これまでに発見された中で最大の西漢の金印であり、印判のつまみに龍を象った最初の帝王璽印である。「文帝行璽」の印は主が生前一国の統治者であったことを物語っている。「帝印」の玉印は兩龍のつまみが彫刻され、王者の氣風を余すことなく示している。また、「趙昧」の玉印は主の名が趙昧であることを示している。目下、大方の研究者はこの神秘的な王陵の主は南越国二番目の王で、南越国建国の王・趙佗の孫の趙昧であるとの見方に傾いている。



“文帝行玺”龙钮金印  
「文帝行璽」龍のつまみの金印

## 珍宝荟萃 宝物のコレクション

墓中，南越王身着一套完整的丝缕玉衣，头枕丝囊珍珠枕，口含珍珠团，手握两件龙形玉觥，脚蹬双连玉璧，同时还有47件玉璧置于棺椁内外。墓中的玉衣是我国目前发现的唯一一套丝缕玉衣，共使用玉片2291片，以丝缕、麻布编缀、粘贴等方式不计其繁地组成了头套、上身衣、袖筒、手套、裤筒和鞋六部分，从而形成了长达1.73米的完整人形。此外，南越王的面部盖有“覆面”，胸腹部有珠襦饰物。

墓の中で、南越王は絹糸で貫かれた玉の衣装一式を身に纏い、頭部には絹袋に真珠の入った枕が置かれ、口には真珠の玉を咥え、両手には龍の形をした二つの玉杯が握られ、足元には円形を二つに結んだ玉が置かれ、47個の玉が棺の内側と外側に置かれていた。王陵にあった玉衣は、中国で発見された唯一の絹糸で貫かれた玉衣であり、合計2291個の玉が使用されており、絹糸、麻布による編み物や粘着などの方法で労を厭わず制作されたものである。被り物、上半身の衣服、袖、手袋、ズボンの裾、靴など六つのパーツを組み合わせて、長さ1.73メートルの完全な人型を形成している。さらに、南越王の顔は「覆面」で覆われ、胸と腹部には玉と真珠の装飾品があった。

当墓中の随葬品被一一清理出来后，人们发现这些随葬品不仅数量大、种类多，而且其中有不少珍稀之物，彰显出当时的南越国在国力和财力方面都颇具实力。

墓の中の副葬品を一つ一つ整理してゆくと、その副葬品は量や種類が多だけでなく、珍品も多く含まれていることが分かり、当時の南越国は国力と財力を兼ね備え、相当な実力を伴った国だったことが判るのである。



丝缕玉衣、龙形玉觥和双连玉璧  
絹糸で貫かれた玉衣、龍形玉杯  
と双輪玉

这是出自棺椁头箱的犀角形玉杯，应是南越王生前使用的酒具。它由一整块青玉雕琢而成，内部中空，集浅浮雕、高浮雕、镂雕、阴刻等技法于一体，构思巧妙、精美绝伦，堪称汉代玉雕的绝品，属于国宝级文物。

これは棺椁頭箱（かんがくとうそう）から出てきた犀の角型の玉杯で、南越王が生前使用していた酒器と思われる。一個の青玉から彫り出されたもので内部は空洞。浅い浮き彫り、深い浮き彫り、透かし彫り、印刻などの技法が一つの作品に凝縮されている。その構想は独創的で、他に類を見ない程精美な仕上がりであり、漢代宝玉彫刻の最高傑作と言うべきであり、国宝級の文化遺産である。



犀角形玉杯  
犀の角型玉杯



透雕龙凤纹重环玉佩  
透かし彫り龍鳳紋二重環状玉佩



错金铭文铜虎节  
金象嵌銘文入り青銅虎節

此外，南越王墓中还出土了11组玉佩、58件玉剑饰、10把铁剑以及错金铭文铜虎节、铜承盘高足玉杯等珍贵文物，都显示出南越王曾经拥有的显赫地位。

また、南越王陵からは玉佩11組、玉剣装飾品58件、鉄剣10本のほか、金象嵌銘文入り青銅虎節、銅の御盆と高足玉杯などの貴重な文化遺産も出土したが、どれも南越王の嘗ての地位がどれほど高かったのを示している。

## 汉楚越文化交融 漢、楚、越の文化の融合

南越国建立之前，岭南仍处于原始部落社会。赵佗建立南越国之后，推行“和辑百越”的政策：尊重当地越人土著、让越人参政、鼓励汉人与越人通婚，同时引进了中原地区大量先进的生产技术，极大地促进了岭南地区经济、文化的发展以及岭南文化与岭南以北的楚文化、中原地区的汉文化的深度融合。因此，南越王墓中出土的器物常常兼具岭南越式、楚式和汉式的特点。

南越王国が成立する以前、嶺南はまだ原始的な部族社会であった。趙佗は南越王国を建国した後、「百越融合」政策を推し進め、現地の先住越族を尊重し、越族の政治参加を認め、漢人と越人の婚姻を奨励した。これと並行して中原地域から高度な生産技術を大量に導入し、嶺南地域の経済、文化を大きく発展させただけでなく、嶺南以北の楚文化と中原地域の漢文化との深い融合を促進した。したがって、南越王陵から出土した遺品には、嶺南地域に展開した越、楚、漢それぞれの特徴を兼ね備えた物が多く見られる。



漆木屏風  
漆塗屏風



人操蛇鎏金銅托座  
蛇使い金箔青銅製屏風受け

## 海外遗珍

### 海外遺珍



蒜头纹银盒  
ニンニク紋様銀製小箱



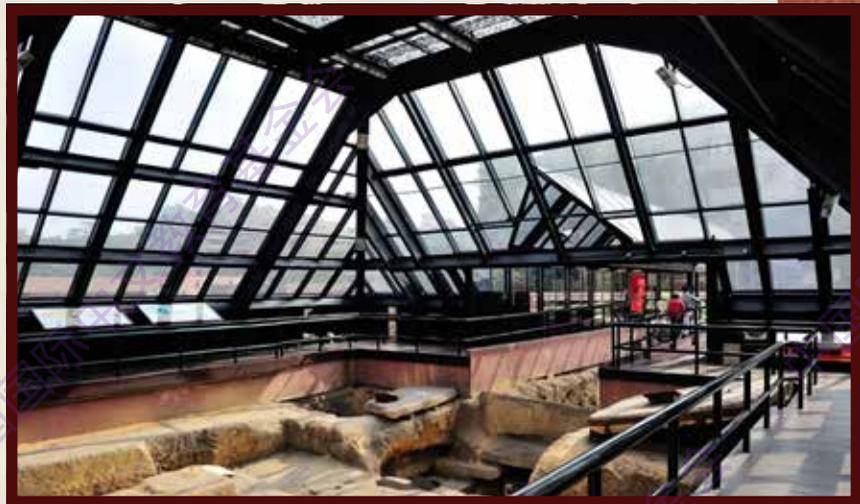
金花泡  
金花泡

南越王墓中随葬的一些器物具有明显的异域风格，一些物品在中国少有产出，被认为很可能是经海上贸易而来的舶来品。其中，主棺椁的足箱内出土了一件精美的蒜头纹银盒，其造型、纹样和风格鲜见于汉代中国境内出产的金银器，却在西亚波斯帝国出产的金银器上找到了明显的渊源，被认为很可能是来自当时的波斯地区。此外，随葬品中还有具有异域风格的金花泡、玻璃珠子。这些物品都成了广州在南越国时期已与海外地区发生文化交流与贸易往来的重要物证。

南越王陵の副葬品の中には明らかにエキゾチックな特徴を持つものがあり、中国では滅多に産出されず、海上貿易で輸入された舶来品と考えられるものもある。そのうち、主棺の足箱からはニンニク文様を施した精緻な銀製の小箱が出土しており、その形状、文様、様式は中国漢代領域出土の金銀製品にはほとんど見られず、西アジアに位置したペルシャ帝国の金銀製品にはっきりとその源流が見出される事から、その起源はおそらく当時のペルシア地方にあると考えられている。さらに、副葬品には、エキゾチックな「金花泡」（金製花飾り）やガラス製ビーズも含まれている。これらの品々は、南越王国時代に広州が海外地域と文化交流や相互貿易を行っていたことを示す重要な物的証拠となった。



南越王博物院（王墓展区入口）  
南越王博物院（王陵展示ゾーン入口）



南越王墓室展区  
南越王陵展示ゾーン

南越王墓见证了广州在2 000多年前已经发展成为具有海上贸易的重要港口城市。2 000多年来，广州一直是中华文化向外传播和展示的重要窗口。

南越王陵は、広州が2000年以上前に海上貿易で重要な港湾都市に発展していたことを証明している。2000年以上にわたり、広州は中国文化の海外に向けた普及と展示の重要な窓口となってきた。❶

供图 / 南越王博物院

# 广东的“味道”

## 広東の「味」

作者：陌上尘 陌上塵

翻译：小林干夫 小林幹夫

美食爱好者们常说：“要想喜欢一个地方，先从喜欢当地的美食开始。”对于以吃闻名的广东来说更是如此，这里的人们倾注在美食上的热情和精力令人惊叹。长期以来，得益于本地丰饶的物产和深远的岭南文化，广东地区形成了“烩不厌细，食不厌精”的饮食风格，食材的鲜美程度、厨师的烹饪水准，造就了粤菜独树一帜的菜式和味道，使之成为中国八大菜系之一。

美食家は常々「その場所を好きになるには、先ず、現地のグルメを好きになることからだ」と言う。これは、食べることにかけては天下にその名の知られる広東では尚更そう言える。この地の人々の美食に賭ける熱情とエネルギーにはただただ驚くばかりだ。長い間、地元の豊富な物産と懐の深い嶺南文化に裏打ちされたお陰で、広東地方では「膾（なます）は細かく切った物を好み、飯（めし）はよく精白したものを好む」という精緻な飲食スタイルが形成された。食材本来の美味しさと料理人の確かな腕前が広東料理というユニークな体系と味を生み出し、中国八大料理の一つに数えられているのだ。





要想好好体验广东的“味道”，心急是万万不行的。懂吃、会吃的广东人在饮食上不仅追求食材范围广、花样多，还颇为讲究“仪式感”，坐下来慢慢品才能感受到粤菜的精髓。早茶是打开广东“味道”的“窗口”。广东的早茶讲究“一盅两件”，即一壶茶、两笼点心。这里的“一盅”茶以本地的大红袍、乌龙茶、普洱茶等为主，不仅能够去腻，还有利于消化；“两件”点心大有乾坤：早茶里最经典的点心要数“四大天王”，即虾饺、干蒸烧卖、叉烧包和蛋挞，此外，还有排骨、凤爪、糯米鸡、肠粉、炒河粉、金钱肚、萝卜糕、马蹄糕、咸煎饼等，花样多着呢！早晨的酒楼里，往往是一家老小或街坊邻居聚在一起，一边品尝美味，一边聊天话家常，就此开启一天的生活。早茶是广东饮食文化的缩影，广东人对早茶的热爱，也体现了他们乐观的生活态度。

広東の「味」を心行くまで堪能したいなら、焦りは禁物だ。食し方を知り且つ上手に食すことのできる広東人は、単に幅広い食材と多岐にわたる料理法を追求するだけに留

まらず、「儀式感覚」に拘る。腰を落ち着けてじっくりと味わってはじめて、広東料理の真髄を感じることができるといわけだ。広東の朝茶は広東の「味」を開く「窓」である。広東朝茶は、「一杯と二つ」に拘る。つまり「1ポットのお茶と蒸籠のおつまみ二つ」である。ここでの「1ポットのお茶」とは、主に地元のダーホンパオ、ウーロン茶、プーアル茶等で、脂っこさを取り除くだけでなく、消化の助けにもなる。さて、「二つのおつまみ」には、謂わば覇者による天下の分割が存在する。朝茶で最も典型的なおつまみの「四天王」、即ち、エビ餃子、蒸し焼売、チャーシューまん、卵タルトの四つが挙げられるが、さらに、スペアリブ、鶏足、鶏肉ちまき、腸粉、平麵炒め、ハチノス煮、大根餅、菱の実ケーキ、塩味クレープなどバラエティーに富んでいる。朝の食堂では、家族や近所の人が集まって舌鼓を打ち、四方山話に興じて一日の始まりを迎える。朝茶は広東食文化の縮図であり、広東人の朝茶に注ぐ情熱は、彼等の楽観的な生き方を象徴している。



广东地区有句俗语：“饭前喝汤，苗条健康。”历史上，整个岭南地区属于湿热气候，为免受湿热瘴疠的病痛，当地人就地取材，熬制汤药来消热去火，这也逐渐成为粤菜中不可或缺的一道例菜。广东人熬汤颇为讲究，一是追求食材新鲜，从水里刚捞上来的活鱼、活虾都是熬汤的上品食材；二是药食同源，无所不“煲”，除了食材，他们的汤煲里也有人参、当归、黄芪等中药材。比如盛夏时节的“冬虫夏草丝瓜汤”，就是用虫草、花甲、丝瓜和生姜熬制的，可以清热祛暑。广东人熬汤按季节的变化搭配不同的食材和药材，且家家户户都有自己独特的熬汤秘诀，什么时候该喝什么汤，人们都了然于心。即便远离家乡，人们依旧会思念那一碗承载了浓浓乡愁的靓汤。

広東には、「食前にスープを飲めば、スリムで健康でいられる」ということわざがある。歴史的に、嶺南地域全体が高温多湿の気候であり、熱性風土病の痛みを避けるために、地元の人々は地物素材と煎じた薬湯で体熱を下げ、のぼせを払うのだが、それは徐々に広東料理にとって欠かすこと

のできない定番料理となって組み込まれていった。広東人はスープ作りにこだわり、食材の鮮度には目を光らせる。水上げされたばかりの新鮮な魚や活きたエビはスープを作る際の上質な食材である。二つ目は「医食同源」で、およそ煮込まないものは無いというくらい全て「煮込む」のである。食される素材に加えて、スープ鍋には高麗人参、トウキ、オウギなどの漢方薬が入られる。たとえば、真夏の「冬虫夏草ヘチマスープ」は、冬虫夏草、花殻、ヘチマ、生姜を煮込んで作られ、解熱、暑気払いに効く。広東人のスープづくりは、季節の変化に応じて様々な材料と薬草が配合され、それぞれの家庭には独自のスープの秘訣があり、何時どのスープを飲むかについて、人々は各々の心にしっかりと答えが用意されているのである。故郷から遠く離れていても、人々は過去に舞い戻り、濃縮されたノスタルジーに満たされた美味しいスープを思い浮かべるのである。

在节日时，广东人对食物的追求更为极致。广东的“九大簋(guǐ)”就是历史传承与美食文化的完美结合，被人们誉为“南方满汉全席”。这里的“簋”原本是古代祭祀时用来盛载五谷的圆形器皿，为当时贵族所有，后来流传到民间，成为人们制作美食的器具。“九大簋”是九道菜，寄托着当地人“九子登科”“长长久久”的美好愿望。“九大簋”的选材非常讲究，但较特别的是，选材里没有牛肉，大概是因为古时候牛能够帮助农民耕田，人们对它的感情比较深厚，实在不忍吃吧！传统的“九大簋”不仅“色”“香”“味”俱全，而且每道菜都含有美好的寓意。比如第一道“乳猪拼盘”，又叫“鸿运金猪”，取“鸿运当头”之意；第二道“发菜扒鸭”，其中的发菜不仅美味营养，而且与“发财”谐音，非常吉利；第三道“豉汁蟠龙鳝”，因造型酷似盘龙而得名，寓意“大富大贵”；第四道“白切鸡”，广东菜“无鸡不成宴”，取“大吉大利”之意；第五道“清蒸生蚝”，保留了先祖们最简单原始的烹调方法，以示不忘传承；第六道“香芋扣肉”，将香芋与肥腴的猪肉相叠，寓意“相辅相成”；第七道“清蒸海鲜鱼”，

鱼是南北菜系不可或缺的食材，此谓“年年有余”；第八道“炒时菜”，通常把西兰花、芹菜、荷兰豆等混在一起炒，内容丰富，取“繁花似锦”之意；第九道“瑶柱粟米羹”，色泽金黄亮丽，有庆丰收的喜悦。当然，随着时代的发展，人们对“九大簋”的菜品也会有调整，以更加符合现代人健康养生的饮食理念。

祝日ともなれば広東人の食への追求は更に熱を帯び、頂点に達する。広東省の「九大器」は、歴史の継承と美食文化が完璧に結合したもので、「南方の満漢全席」として知られる。ここに言う「簋・グイ(皿)」とは、元来、古代の祭祀の際、五穀をお供えするために使用された丸い容器である。当時、貴族の持ち物であった礼器は時代が下って民間にも広まり、人々が美食を作る際の器具となった。「九大皿」は、九種の料理から構成され、「九子登科」(王田氏の九人の息子が全員同時に科擧の進士に合格したというお目出度い逸話)と、「(「九」の音が「久」と同音であることから)「末永く幾久しくあれ」との現地の人々の麗しい願望が



込められている。「九大皿」の材料の選択は殊更拘りが見られるのだが、その中で特異なのは牛肉が選択肢に入っていない事である。おそらく古代において、牛は農民が田畑を耕すのを助けてくれる有難い存在であり、また、人々も尊い牛に対し深い愛情を持っていたので、彼らはそれを食するに忍びなかったのである。伝統的「九大皿」は、色彩、香り、味の全てを満足させるだけに留まらず、どの料理にも美しい寓意が込められている。例えば、最初の料理「子豚の盛り合わせ」は、「鴻運金猪（鴈＝幸運が黄金の豚を運ぶ）」とも呼ばれ、「鴻运当头」（鸿运：红运＝幸運な時期に入る）と解釈されるのである。二番目の料理「髮菜扒鴨」は、髮菜自体が美味で栄養価が高いだけでなく、「発財（財を成す）」と同じ音に作るので大変縁起が良い。三番目の料理「豉汁蟠龙鱔」（タウナギの蒸し煮）は、その姿が蜷局を巻いた龍に似ていることから名付けられ、「莫大な富と高貴な身分」を意味する。四番目の「白切鶏」（煮鶏の切り身）。広東料理では「鶏が無いでは宴会にならぬ」と言い、「幸運と大いなる利得」を意味する。五番目の「蒸し牡蠣」は、祖先が残してくれた最もシンプルで原始的な調理方法を「忘れずに継承していますよ」と示す為の料理である。六番目の料理「香芋扣肉」（里芋豚の茹で揚げ蒸し）は里芋と豚の三枚肉を重ね合わせたもので、「互いに補完し合おう」との意味を表す。七番目の料理は「清蒸海鮮魚」（蒸し魚）。魚は南、北を問わず欠かせない食材であり、「有魚」と「有余」＝魚と余の発

音が同じであることから、「毎年余裕綽綽」で縁起が良いとされる。八番目の「季節の炒め物」は、通常、ブロッコリー、セロリ、エンドウマメなどを混ぜて炒めた料理で、贅沢で彩も豊かな事から「生い茂った花々が織りなす錦」を意味する。九番目の料理は「瑶柱粟米羹」（貝柱鶏胸肉のコーンスープ）。この料理の金色で明るい色彩は豊作豊収を祝う喜びを表す。もちろん、時代の発展に伴い「九大皿」を構成する料理の内容にも手が加えられ、より現代人のウエルネス思考に沿った、理想的な飲食スタイルに変化して行くだらう。

虽然都是广东“味道”，但广东不同地区的人们有着不同的饮食偏好。省会广州汇集了中外各类特色美食，本地人常吃的有炒牛河、肠粉、萝卜牛杂、虾饺等美味。其中，肠粉是用稀米浆蒸成薄粉皮，再将粉皮卷成长条形，因其状如猪肠而得名，看起来雪白晶莹，吃起来嫩滑爽口。潮汕地区则有牛肉丸、菜头粿、鸭母捻等美食。每次去潮汕餐厅，手打牛肉丸是必点的招牌菜之一，口感爽脆，肉质细嫩，非常有嚼劲。



ここに述べたのは全て広東の「味」ではあるが、広東と一口に言っても土地は広く、地域が異なれば人々の食の好みもそれぞれである。省都の広州には、国内外の特色あるグルメや現地人が常食とする牛肉炒め河粉（平打ち麺）、米粉クレープ、大根の牛のモツ煮、エビ餃子などのグルメが集まっている。中でも腸粉（米粉クレープ）は薄い米粉ミルクをクレープ状に焼き、これを蒸して薄手の米粉クレープを作り、次にこれを細長く巻く。こうすると豚の腸のような形になることから、そう名付けられた。白水晶のように透き通って見え、柔らかくツルっとしており、口当たりが良い。潮州、汕頭地区には、牛肉団子、大根餅炒め、鴨母捻（餅粉団子のスイーツ）などのグルメがある。潮汕レストランに行くたびに、自家製牛肉団子は、注文しなければならない代表的な料理の一つで、口当たりも良く、柔らかい肉質で菌ごたえも良い。

而客家人比较喜欢“粿”。正宗的黄粿，选取本地产的禾米，再搭配用野生黄栀子树枝做成的黄板水，经过反复蒸制、捶打而成，看起来色泽金黄，蘸上糖或酱料，风味独具一格，或与瘦肉丝、冬菇丝、冬笋丝等爆炒，也非常好吃。

また、客家の人々は「粟餅」を好む。正統派の粟餅は地元で生産された粟から選び、これに野生のクチナシの幹や枝から採取した黄色の液体と合わせて何度も蒸し、砵で叩いて作られる。見た目が黄金色に仕上がったら、砂糖やソースを付けて食すが、独特の風味がある。或いは細かく刻んだ赤身の肉、椎茸、冬菇、タケノコなどと一緒に炒めて食すが、これも大変美味しい。

这些纷繁多样的美食汇集成人们心心念念的广东“味道”。每个广东人都有自己喜欢的菜品，这是属于自己独一份的广东“味道”，也是在享受美食时不辜负生活的一种态度。

これらの多様なグルメが集まって、人々の心をつかんでいるのが広東の味だ。広東人はそれぞれに好きな料理があり、それが彼ら独自の広東の味でもある。これはまた、グルメを楽しむ際にも、己の生き方を裏切らないという姿勢の表れだ。 孔



# 岭南客家的“擂茶”

## 嶺南客家の「擂茶」

供稿：韶关学院 韶関学院

作者：苏慧萍 蘇慧萍

翻译：谢秦 謝秦



“擂茶”，是江西、福建、广东、台湾等地区客家人典型的饮茶方式。客家人有“无擂茶不成客”的说法，顾名思义，擂茶是好客的客家人最普通却最隆重的一种待客礼仪。得到擂茶招待，客人会产生宾至如归的欢愉之感！

「擂茶」は、中国の江西、福建、広東、台湾諸省に居住する客家族の独特な茶文化である。客家の人々には「擂茶なしでは御もてなしにならない」という言い方があるように、擂茶はお客さんを招待するのに最も通常かつ盛大な接客法である。擂茶による御もてなしは招待される側にとっても我が家に帰ったような愉快なものである。

客家的擂茶文化历史悠久。相传在东汉时期，大将军马援带兵途经武陵（今湖南地区）时，部队突发瘟疫，当地农户及时提供了祖传的除瘟疫良方：取生茶、生姜、生米各10石，磨成糊状后，以开水冲食。士兵们服用后，果然“茶到病除”，擂茶也由此流传开来。之后，无论是在祭祀还是婚庆等特殊日子，人们都会以擂茶作为重要的待客之礼。北宋苏轼在《和蒋夔寄茶》中的诗句“柘罗铜碾弃不用，脂麻白土须金研”，描绘的就是擂茶的茶饮方式。苏轼以“金研”描述擂棒磨脂的脂麻粉，以细致的白色粉末，呈现着擂茶曼妙的姿态。人们在品茶时，仿佛能将大自然的生机精华全然融入身心之中；在享受擂茶的同时，也让心灵得到极大的疗愈。

客家的擂茶文化は悠久な歴史を有している。後漢時代の武將馬援は軍隊を率いて武陵（今の湖南省）に駐屯する際に、突然軍内では疫病が蔓延した。危機一髪の時に、地元の農家は代々秘伝の疫病退治の処方薬を献じてきた。生茶、生姜、生米各10石ずつをすり混ぜて粉末にして、その粉末にお湯を注いで兵士たちに飲ませたところ、疫病が見事に治まったという。これが擂茶の始まりだと言われ、その後広く飲まれるようになった。特に冠婚葬祭など特別な日に、擂茶は重要な御もてなしの儀式として重んじられるようになった。北宋蘇軾の詩集『和蔣夔寄茶』に「柘羅銅碾棄不用，脂麻白土須金研（柘羅銅碾を棄て用いず、脂麻白土に金研が須く）」という詩文が見られ、擂茶の飲み方を記録したものとされる。蘇軾は「金研」という言葉を用いて、すりこぎで胡麻を磨りつぶして、緻密な粉末に仕上げている擂茶の趣を描いている。擂茶を口に含むと、大自然のパワフルなエッセンスが身に染みていくような気がして、お茶を楽しむだけでなく、魂まで洗浄され癒されていくのを実感するものである。

2023年8月，从台湾返回广东后，我和几位朋友前往深圳拜访汪氏伉俪。炎热的中午时分，大伙聊得正开心时，汪兄拿出一口大号擂钵，放置在地面上，依次倒入茶叶粉、芝麻、花生、红枣等配料和他的“秘密武器”——香菜，之后便开始用擂棒研磨。汪嫂为我们精心准备了几道小菜，有青菜、花生米，还有微辣的菜脯。我顿感新奇：怎么只见素菜而无荤食？她热情





然とした幸福感に包み込まれながら、私たちは客家擂茶の魅力に感動したのである。

汪兄一边为我们舀茶汤，一边向我们解说：“广东省饮擂茶的区域主要在揭西县的河婆镇，在陆丰、海丰、陆河三个县也比较普及。广东擂茶有两种明显不同的地域特色：陆丰县和海丰县擂茶里的菜含油量较高、荤菜更多，搭配番薯做的河粉拌着吃；陆河县和揭西县擂茶就素一些，通常是和上炒米一起吃。两地的擂茶配方也有差异：陆河县用的是黑芝麻，汤色偏黑，而揭西县用的是绿茶和白芝麻，茶汤呈绿色。总而言之，喜欢吃什么就加什么，也不分季节。亲友来访的时候，我们通常就用擂茶招待客人。擂茶还有‘干式吃法’和‘汤式吃法’，你们都要好好尝尝喔！”得到汪氏伉俪如此热情的款待，我们真的太感动了，忍不住边吃边拍照，也想让台湾的亲友知道，原来广东擂茶的吃法是如此丰富有趣！

地发给每人一个装着白米饭的海碗，示意我们将自己喜欢的菜品随意放入碗中拌着吃。就在我琢磨着擂钵中的物料到底派什么用的时候，只见汪兄将开水缓缓倒入，已磨成粉末的五谷经热水一冲，即刻散发出浓郁的香气，混合着清新的香菜味，我顿时味蕾大开，心头涌上一股莫名的幸福感。此时的我们，深切地感受到了客家擂茶的魅力！

2023年8月、台湾から広東に戻り、私は何人かの友人と共に深センに向き、汪さんご夫婦を尋ねた。真夏のお昼ごろ、皆は雑談に耽っていたところに、汪さんは大きなすり鉢を持ち出して、皆の前の床に置いた。そこに茶葉の粉、ごま、ピーナッツ、ナツメなどを次々とすり鉢に入れてから、「秘密兵器」の香菜を加えた。そしてこれらの食材をすり始めたのである。その間に、奥様は私たちにおかずを用意してくれた。青菜やピーナッツそしてちょっと辛口のおしんこなどがあった。なぜ「素菜」（あっさり系のお野菜のことを指す）ばかりで「葷菜」（臭気の強い野菜や肉類などを指す）がないのかと私は不思議に思ったが、奥様は私たち一人ずつごはんを盛った丼を持ってきて、好きなようにおかずを取ってごはんを混ぜてから食べるようにと教えてくれた。私はすり鉢に仕上げられるものはいっつ食べるかと好奇心に駆られているところに、汪さんはお湯をゆっくりとすり鉢に注いだのである。粉状にした五穀はお湯の熱気によって直ちに香ばしい匂いを漂わせた。香菜の清々しい匂いと調合した擂茶は、まさに食欲をそそるものであった。漢



汪さんは擂茶を入れながら解説を始めた。「広東擂茶が一番よく飲まれているのは揭西県の河婆町であるが、その他陸豊、海豊、陸河の三県にも見られている。広東擂茶は大まかに二つの系統がある。陸豊と海豊の二県の擂茶は少し脂っこく、「葷菜」も入っているため、芋で作られる「河

粉) (ホーフアン) と一緒に食べるのが特徴である。陸河と揭西の二県の擂茶はあっさりしていて、「炒米」と一緒に食べるのがよいとされる。この二系統の擂茶に取り入れられる食材も若干異なる。陸河県は黒ごまを使っているため、お茶の色が濃いものになるが、揭西县は緑茶や白ごまを使っているため、お茶の色が緑茶の色に近いものである。それぞれ特徴が異なっても、季節を問わず好きな食材を自由に取り入れられ、お客さんを招待するための定番料理であるところが広東擂茶共通の流儀である。擂茶の飲み方には「乾式」と「スープ式」がある。どうぞ、どれも味見してみてください。」汪さんご夫婦の盛大なおもてなしに私たちはとても感動し、カメラのシャッターを頻りに押していた。広東擂茶はこれほど豊かな内包をもつことを台湾の友人に伝えたいとばかり思っていた。

经由这次收获满满的广东“擂茶之旅”，我了解到擂茶融合了中国儒家和道家“群己共融”的处世哲学，而“客来饮茶”的待客礼仪则融合了大自然有机食材的擂茶饮食文化，这也正契合儒家的中庸和谐与道家的自然之道。苏轼在《超然台记》一文中说道，“凡物皆有可观。苟有可观，皆有可乐”，其“可观可乐”的观念，即源自道家自然和乐的生活哲学。

広東での「擂茶の旅」は知の旅となった。擂茶は「群己共融」(個人と集団との調和)という中国儒教と道教の处世哲学を取り入れた一方、「客来飲茶」という接客作法は大自然の恩恵を反映させた茶文化を生み出したのである。儒教の中庸調和と道教の自然順応をうまく融合させた文化形式でもあることが分かった。蘇軾は『超然台記』に「凡その者は皆観るべし。苟も観るべきものあり、皆楽しむべきものある」という詩文を残している。「観るべし、楽しむべし」という理念は、道教の「自然和楽」という哲学思想に通じるものである。

現代人对于擂茶民俗文化的体认，源自生活的记忆。在内涵和底蕴深厚的擂茶文化中，岭南广东建构了自然饮食的养生理念，这体现了客家文化和谐共融的民俗和生活情态。衷心期盼有更多的人能亲身体验擂茶文化，以彰显它的时代价值。

現代に生きる私たちが擂茶文化に魅了されるのは、古くからの記憶にその源があるからではないか。内包や底力のある擂茶文化を通して、嶺南広東は自然尊重の養生文化を構築したと同時に、客家文化と調和した新たな民俗文化を築き上げたと言えよう。時代的価値を有する擂茶文化がますます多くの人々の身近なものになってほしいと願うばかりである。❶



# 底蕴深厚的岭南文化

## 奥深い嶺南文化

作者：萝卜丝 蘿蔔絲

翻译：三好雅彦 三好雅彦

岭南是中国南方“五岭”以南地区的泛称。“五岭”指大庾岭、骑田岭、萌渚岭、都庞岭和越城岭，地势雄峻，将山岭以南地区与中原内地相隔开。从地图上看，岭南地区大体上包括今天的广东、海南等省份的大片区域，这些区域的地理环境和气候条件相近，生活习俗也类似。千百年来，生于斯、长于斯的岭南人在当地文化和中原文化的交融中孕育出了丰富多彩的岭南文化。

嶺南は中国南部に位置する「五嶺」以南の地域の一般的な呼称である。「五嶺」は大庾嶺、騎田嶺、萌渚嶺、都龐嶺、越城嶺を指す。地勢は雄大かつ険峻で、山脈の南側の地域と内陸部の中原を隔てている。地図を見ると、嶺南地区はおおむね現在の広東、海南などの省の広い区域を含み、これらの区域は地理的環境や気候条件が近く、生活習慣も類似している。長きにわたって、ここで生まれ、ここで育った嶺南人は、現地の文化と中原の文化が融合する中で、豊かで多彩な嶺南文化を育んできた。

岭南文化，源远流长。在岭南地区的发展过程中，各朝各代都留下了痕迹。汉代时期，陈钦、陈元父子是岭南地区的著名学者，以讲授《春秋左氏学》闻名，被誉为“岭南之儒宗”。《隋书·地理表》中对岭南地区的民间商业活动有“岭南诸州，多以盐、米、布交易，俱不用钱”的记载。唐代分全国为十道，将五岭以南地区设置为“岭南道”。自此，“岭南”成为官方确定的地



名。宋代诗人苏轼的名句“日啖(dàn)荔枝三百颗，不辞长作岭南人”则表达了对岭南地区风物的赞美和留恋。清代，广州十三行是中国与世界贸易、文化交流的重要窗口，向世界各地传播着中国文化。近代以来，康有为、梁启超等人在广州创办“万木草堂”研究变法理论、培养维新人才，极大地推动了社会的进步。改革开放以来，广东地区敢闯敢试，拉开了中国经济社会快速发展的序幕。可以说，从古至今，岭南文化以其厚重、自新和“敢为天下先”为中国的发展作出了重要贡献。

嶺南文化は古く長い歴史を持っている。嶺南地区の発展の過程で、それぞれの王朝、それぞれの時代が痕跡を残している。漢代のころには、陳欽と陳元の父子が嶺南地区の著名な学者で、『春秋左氏学』の講義で知られ、「嶺南の儒宗（儒家の大家で、漢代以降は読書人に慕われる学者を指すようになった）」とたたえられている。『隋書・地理表』には嶺南地区の民間における商業活動について、「嶺南諸州では、金を使うことなく、塩、米、布を取引している」という記載がある。唐代には全国が10の道に分けられ、五嶺以南の地域には「嶺南道」が設置された。それ以降、「嶺南」は公式に確定した地名となった。宋代の詩人・蘇軾の名句「日に荔枝（れいし、果物のライチ）を啖（くら）うこと三百顆、辞せず長（とこしえ）に嶺南の人と作（な）るを（ライチを毎日、300粒も食べられる。このまま嶺南で暮らすのも悪くない）」は、嶺南地区の風物に対する賛美と思慕を表現している。清代、広州十三行（広州港の役所が経営していた商社の総称）は、中国と世界の貿易、文化の交流の重要な窓口となり、世界各地に向けて中国の文化を伝えた。近代以降、康有為、梁啓超

らが広州で「万木草堂」を創設し、変法理論を研究して、維新の人材を育成し、社会の進歩を大いに推進した。改革開放以降、広東地区は果敢に突き進んで挑戦し、中国の経済社会の速やかな発展の幕を開けた。古くから今日に至るまで、嶺南文化はその重厚さ、革新性と「天下のために勇敢に先に立つ」ことで、中国の発展に重要な貢献をしてきたといっている。

嶺南文化，博大精深。长期以来，嶺南地区内融中原文化精华、外合欧美创新潮流，形成了涵盖科学、文学、绘画、戏曲、工艺、建筑、民俗、宗教、饮食、语言、侨乡文化等众多内容的特色文化。据广东地方志统计，在这片神奇的土地上，人们创造了165项国家级非物质文化遗产和816项省级非物质文化遗产，其中有五项入选联合国教科文组织非物质文化遗产代表作名录。按地域来分，嶺南文化又以广府文化、客家文化和潮汕文化为主，是中华文明的重要一脉。

嶺南文化は広く、奥深い。長きにわたって、嶺南地区内においては中原文化の真髓を融合し、外に対しては欧米の革新的な潮流に合わせ、科学、文学、絵画、戯曲、工芸、建築、民俗、宗教、飲食、言語、華僑文化といった多くの内容を含む特色ある文化を形作ってきた。広東の郷土誌の統計によると、この不思議な地において、人々は165件の国家級無



形文化遺産と816件の省級無形文化遺産を創造し、そのうちの5件はユネスコの無形文化遺産の代表リストに選ばれている。嶺南文化は地域ごとに分かれ、広府文化、客家文化と潮汕文化を主として、中華文明の重要な一脈となっている。

広府文化以广州为中心，覆盖了广东珠三角使用粵方言的绝大部分地区，是岭南文化的重要组成部分。人们熟悉的“粤剧”“粤曲”“广府菜”“岭南古琴”“波罗诞庙会”等都是广府文化的优秀代表。潮汕方言特色鲜明，是岭南文化非常显著的标识。比如，当你听到“浪裂”（意为“非常”）、“有盘”（意为“有办法”）这类话语时，就可以肯定对面是一个广东潮汕人了。作为岭南文化的重要分支，潮汕文化主要是在畬（shē）族文化的基础上发展起来的。潮汕文化的代表有英歌舞、工夫茶、潮汕祠堂、潮汕木雕、潮州大锣鼓和潮汕民居等，在海内外享有盛誉。其中，英歌舞和北方秧歌齐名，被称为“北有秧歌，南有英歌”。潮汕民居建筑奇伟，当地有“潮汕厝（cuò），皇宫起”的说法。更为一绝的是潮汕工夫茶，讲究“茶、器、水、艺、道”的整体搭配，饮茶有21道程序，分别是备器、生火、净手、候火、倾茶、炙茶、温壶、温杯、纳茶、润茶、刮沫、烫杯、高冲、滚杯、低斟、点茶、请茶、闻香、啜味、审韵、谢宾，一整套流程包含了喝茶的全部礼节，也让潮州工夫茶成为饮茶届的“天花板”。



広府文化は広州を中心として、広東省の珠江デルタの広東方言を使用する地域の大部分をカバーし、嶺南文化の重要な構成要素となっている。よく知られた「広東オペラ」「広東音楽」「広州料理」「嶺南古琴」「波羅誕縁日」はいずれも広府文化の優れた代表である。潮汕方言は特色が鮮明で、嶺南文化の顕著な象徴となっている。例えば、「浪裂（「非常に」の意味）」や「有盘（「方法はある」の意味）」という言葉を聞くと、相手が広東の潮汕人に違いないとすぐにわかる。嶺南文化の重要な系統として、潮汕文化は主に畬族文化を基礎として発展してきた。潮汕文化の代表は英歌舞、工夫茶、潮汕祖廟、潮汕木彫、潮州大銅鑼太鼓、それに潮汕の民家などがあり、国内外で高く評価されている。その中で、英歌舞は北方のヤンコ踊りと同等の名声を博し、「北のヤンコ踊り、南の英歌」と称されている。潮汕の民家の建築は壮麗で、現地には「潮汕建築は皇宮の起源」という言い方がある。さらにユニークなのは潮汕工夫茶で、「茶、器、水、芸、道」の全体的な組み合わせにこだわっている。飲茶には21の手順があり、器を用意する、火を起こす、手を清める、火が十分に燃えるのを待つ、茶葉を取り出す、茶葉をあぶる、急須を温める、茶碗を温める、急須に茶葉を入れる、急須に湯を入れる、お茶の泡を取り除く、お茶を入れて杯を温める、高い位置から湯を注ぐ、茶碗を転がして洗う、お茶を低い位置から注ぐ、お茶を茶碗に均等に注ぐ、客にお茶を勧める、お茶の香りを楽しむ、お茶をすする、余韻を楽しむ、客に感謝の意を表す、一連の手順にはお茶を飲むすべての礼儀が含まれ、潮州工夫茶を飲茶の世界の「頂点」に押し上げている。

客家文化在岭南文化中最具中原文化特色，有古汉文化“活化石”之誉，主要以唐宋时期中原汉人南迁时保留的文化为底色。历史上，由于中原地区战乱动荡，一部分避乱的汉人南下进入珠三角地区，在自身文化与当地土著文化融合的过程中形成了客家文化，包括客家方言、客家民俗、客家民居、客家诗文、客家历史、客家饮食、客家家族族训等多个方面。广东的梅州是典型的客家文化区，有“世界客都”之称。

客家文化は嶺南文化の中で最もよく中原文化の特色を残しており、古い漢文化の「生きた化石」の誉れ高い。主に唐宋時代の中元の漢人が南遷したときに残した文化を底流としている。歴史上、中原地域で戦乱が激しくなったため、戦乱を避けようとした一部の漢人が南に下って珠江デルタ地域に入り、自分たちの文化を現地の土着文化と融合させ、その過程



で客家の方言、客家の民俗、客家の民家、客家の詩文、客家の歴史、客家の飲食、客家の家や一族のおきてといった多くの方面を含む客家文化を形成した。広東の梅州は典型的な客家文化の地域で、「世界の客家の都」と呼ばれている。

2023年1月、梅州被中国文化和旅游部列为国家级文化生态保护区——“客家文化（梅州）生态保护区”，这也是广东首个国家级文化生态保护区。在梅州一带，客家民居的主要建筑形式是围屋，分为外围围合部分和内部核心部分，由祠堂、堂间、横屋、围屋、炮楼、天街、天井等组成，集家、祠、堡于一体，是客家文化的重要载体和象征。

2023年1月、梅州は中国文化・観光部によって国家級文化生態保護区である「客家文化（梅州）生態保護区」に指定された。これは広東省で初めての国家級文化生態保護区でもあった。梅州一带では客家の民家の主な建築形式は围屋であり、外周の囲い合わせの部分と内部の核心部分に分かれ、祖廟、客間、母屋前の両側の部屋、四角に囲まれた部屋、望楼、露天の廊下、中庭などで構成され、家屋、廟、とりでが一体となって集まり、客家文化の重要な担い手となり、象徴にもなっている。

近年来，依托广东经济的快速发展，根深脉厚的岭南文化也不断与时俱进。广州永庆坊、潮州牌坊街、汕头小公园等城市建筑在广东拔地而起，粤剧、岭南美术、广东音乐等文化“名片”在全国风靡——承载了千年文明的岭南文化毫不违和地融入了人们的现代生活，焕发出更加迷人的光彩。

近年、広東の急速な経済発展により、根が深く脈々と流れる嶺南文化も時とともに歩み続けている。広州永慶坊、潮州牌坊街、汕頭小公園などの都市建築が広東省に立ち並び、広東オペラ、嶺南美術、広東音楽などの文化の「代名詞」が全国でもてはやされている。文明の長い歴史を持つ嶺南文化は違和感なく人々の現代の生活に溶け込み、より魅力的な輝きを放っている。❶

# 徐行草编

## 徐行草編み細工

作者：徐家行 徐家行  
翻译：三好雅彦 三好雅彦

一根小小的黄草，经过妙手编织，曾经入过唐朝宫廷，后来登上上海世博会、进博会的舞台；一面草编墙还成为颇具人气的网红打卡点，受到了国内外媒体的关注。这项始于唐代、盛于明清的传统编织技艺，如今正迈着时代的步伐，活跃在我们的日常生活中，它就是——徐行草编。

小さな黄色い草が、巧みな手工によって編まれ、かつて唐の朝廷に献上され、時を経て上海万博・進博の舞台に登場した。一方、草編み細工の壁はネットで人気沸騰中のスポットになり、国内外のメディアに注目されている。唐代に始まり、明や清の時代に盛んになった伝統的な編み物の技は、今では時代とともに歩を進め、人々の日常生活の中に息づいている。それが徐行草編み細工である。

徐行现位于上海市嘉定区东北部，是江南著名的“草编之乡”。“妇孺闲来手执蒿，唱着山歌编草包”描述的就是徐行家家户户打草编织的生动情形。徐行先民用黄草杆茎编织成的生活用品玲珑精致，缀上色彩鲜艳的花纹图案，精细美观、轻巧实用，成为一方名产。徐行镇也因此于1996年被中国文化部命名为“中国民间艺术之乡”。2008年，徐行草编被列入国家级非物质文化遗产名录，2018年入选第一批国家传统工艺振兴目录。

徐行は現在の上海市嘉定区の北東部に位置し、江南の有名な「草編み細工の里」である。「女や子どもがヨモギを手に持ち、民謡を歌いながら草の袋を編む」は、徐行の家々での草編み細工の様子を生き生きと描いたものである。徐行の昔の人が黄草（イネ科の一年草で、葉とさやは強靱で柔らかく光沢がある）で編んだ生活用品は精工で手が込んでいて、色鮮やかな模様が編まれ、繊細で美しく、軽く実用的で、名産品となっている。それにより、徐行鎮は1996年に中国文化部から「中国の民間芸術の里」と命名された。2008年、徐行の草編み細工は国家級無形文化遺産に登録され、2018年には初めての国家伝統工芸振興リストに登録された。



## 传说中的草编 伝説の草編み細工

“编筐打篓，养活九口”。草编是中国最古老的编织工艺之一，至少有上万年的历史。相传，伏羲氏从蜘蛛结网得到启示，学会了编织，发明了渔网。

「籠を編んで、9人を養う」。草編み細工は中国の最も古い編み物工芸の一つで、少なくとも1万年近い歴史を有している。言い伝えによると、伏羲氏がクモの巣作りからヒントを得て、編み物を学び取り、漁網を発明したという。

黄草是一种生长在河滩上的野生草本植物，茎高约两米、粗约一厘米，色泽嫩黄。关于黄草，徐行有这样一个传说：在很久以前，徐行新泾村住着一个叫黄茅草的姑娘。她从小给财主家放牛割草，到了出嫁的年龄，却穷得没鞋穿。懂事的老黄牛衔了一把黄草给她，她就给自己编织了一双黄草鞋，穿上出嫁了。后来，村里的姑娘们纷纷效仿，人们就把她们叫作“草编仙子”。再后来，这个村也改名为“蒲鞋村”。

黄草は河原で生まれ育つ野生の草本植物で、茎は高さ約2メートル、太さ約1センチメートルに育ち、色はみずみずしい黄色である。黄草について、徐行の人々の間に次のような言い伝えがある。昔、徐行新涇村に黄茅草という一人の娘が住んでいた。彼女は幼いころから金持ちのために牛を放牧したり、草を刈ったりしていたが、嫁に行く年になったとき、靴も履けないほど貧しかった。その事情を知った年老いた牛が一握りの黄草をくわえて彼女に渡し、彼女は自らのために黄草の靴を編み、それを履いて嫁いだ。それから、村の娘たちが次々にそのまねをし、人々は彼女たちを「草編み細工の天女」と呼んだ。その後、この村も「蒲鞋村」と名を改めた。

## 一部成长发展史 成長と発展の歴史

唐初，嘉定东门外澄桥附近的农民开始用野生黄草编织蒲鞋。蒲鞋被当地稍有文化的官吏、士大夫们慧眼识中，进献官府，声名远扬。

唐代の初め、嘉定東門の外にある澄橋付近の農民が野生の黄草で蒲靴を編み始めた。蒲靴は現地の少し文化の素養がある役人や士大夫たちの眼鏡にかない、役所に献上され、名声が遠くまでとどろいた。

据清代史学家王鸣盛考证，早在1000多年前的唐代，黄草拖鞋已是苏州郡的土贡之一。“席、鞋二物皆以草为之，而草鞋独出嘉定一邑，此草他郡所无”。

清代の史学者である王鳴盛の考証によると、1000年余り前の唐代には、黄草の草履が蘇州郡の献上品の一つであった。そして「畳、靴の二物は草でできているが、草履は嘉定だけで作られており、その草はこの地にしかない」とされた。

清康熙年间，《嘉定县志》记载：“蒲鞋，出新泾镇（今徐行澄桥），其居民取黄草、菅草为之，男女习以为业。”乾隆年间，嘉定知县陆隄其将黄草拖鞋送给巡抚慕天颜作祝寿礼，巡抚“爱不释手，整天穿着”。

清代の康熙年間、『嘉定県史』には、「蒲靴は新涇鎮（現在の徐行澄橋）で作られ、そこの住民は黄草や菅草を取り、男も女もそれをなりわいとしている」と記載されている。乾隆年間、嘉定の知県（県の長官）を務めた陸隄其は黄草の草履を巡撫（民政・軍事をつかさどる役人）慕天顔に誕生日の祝いとして贈り、巡撫は「気に入って片時も手放せず、一日中履いていた」。



清末，徐行黄草拖鞋畅销全国，以家庭作坊自产自销的经营模式逐渐被打破。1914年，意大利斯曲罗斯洋行以汪季和、朱石麟为代理人，向徐行农民收购织品，转销东南亚和欧美各地，年总值超10万元。自此，徐行草编进入国际市场。1919年，朱石麟、陈奉璋等集资在徐行开设了兴业草织公司——徐行第一家国人自己创办的草织公司，直接经营外销。公司还在澄桥设立织工传习班，聘请技师传技千余人。之后，徐行相继开办了达利、华成、大华、振兴等草织公司，形成了规模化、市场化的流通渠道。

清末，黄草的草履是全国でよく売れ、家の工房で自社生産、自社販売するという経営モデルが徐々に崩れた。1914年、イタリアのシュトラウス洋行が汪季和、朱石麟を代理人として、徐行の農民の編み物を買付け、東南アジアと欧米の各地に転売して、年間の売り上げが10万元を超えた。それを契機として、徐行草編み細工は国際市場に参入した。1919年、朱石麟、陳奉璋らは資金を集め、徐行に興業草織公司を設立した。それは徐行で初めて中国人が自ら創設した草織り会社で、直接、外販を経営した。会社はさらに澄橋に編み物職人の技術訓練班を設立し、招請された技師が1000人余りに技術を教えた。その後、徐行には達利、華成、大華、振興などの草織り会社が相次いで設立され、大規模化、市場化した流通ルートを形成した。

在市场的驱动下，草编制品不断创新，工艺日臻完善。到20世纪30年代，除了有细白、彩条、牡丹、龙纹等各式草编拖鞋外，还有精美的草编钱夹、文件夹、帽子、台毡、糖果盒、杯套、玩具等，造型美观、工艺精湛、图案生动。

市場に駆り立てられるようにして、草編み細工の製品は絶えず革新し、技術は日々向上してきた。1930年代になると、細白、彩条、牡丹、龍紋といった各種の草編み細工の草履のほか、精巧な草編み細工の財布、フォルダー、帽子、机の敷物、キャンディーボックス、カップカバー、おもちゃなども登場し、造形が美しく、工芸が巧みで、模様が生き生きとしていた。



新中国成立后，政府高度重视草编这一悠久传统工艺的传承和发展。1952年，徐行草织供销生产合作社和群艺草织合作社相继成立，专事编织品种、样式和工艺研究，支持农民发展生产，取得了显著成效。到20世纪90年代，草编制品远销欧美和日本等50多个国家和地区。

新中国成立以降、政府は草編み細工という悠久の伝統工芸の伝承と発展に特に力を入れてきた。1952年、徐行草織供給販売生産合作社と群芸草織合作社が相次いで設立され、編みの品種、様式、工芸を専門的に研究し、農民の生産の発展を支援して、際立った成果を挙げた。1990年代になると、草編み細工の製品は欧米や日本など50余りの国と地域で販売されるようになった。

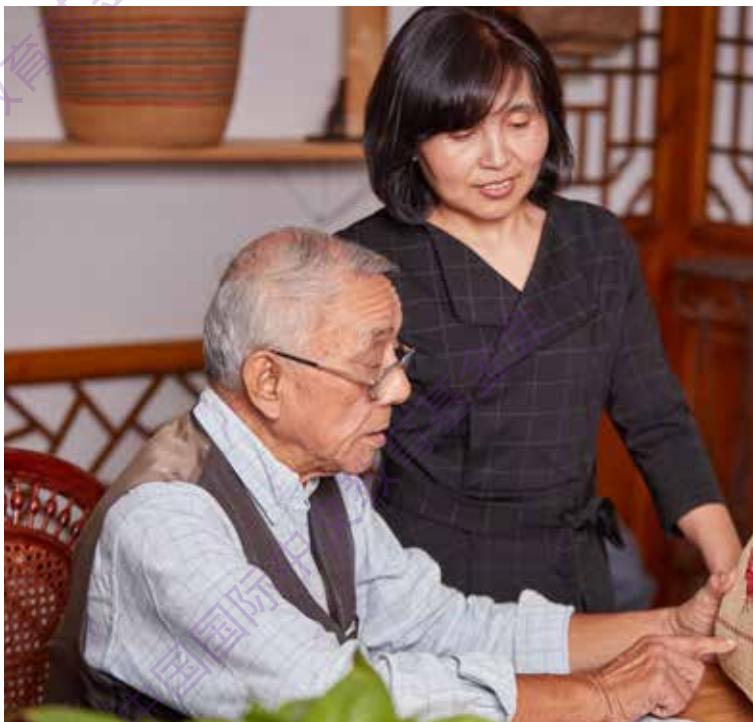
## 今天的匠心传承 今日の匠の伝承

如今，徐行草编已经被越来越多的人关注和了解，巨大的市场需求也让这一传统工艺焕发出新的活力。这离不开一代又一代匠人的坚持。

現在、徐行草編み細工はますます多くの人に注目され、理解されるようになってきている。巨大な市場のニーズがこの伝統工芸に新たな活力を与えている。この状況に至ったのは、代々の職人が頑張ったからにほかならない。

草编能手李月琴，她创作的“和平鸽”草编拖鞋获莱比锡国际博览会艺术奖章；市级传承人计学成，他创作的“周游列国”草编包获全国工艺美术展览会三等奖；上海市劳模、上海工匠王勤，她创作的“花开富贵”草编装饰品获第五届中国非物质文化遗产博览会传统工艺比赛草柳藤编织项目第二名……还有无数草编匠人，他们都在用自身的努力保护和传承徐行草编。

草編み細工の達人・李月琴さん、彼女が創作した『平和鳩』という草編み細工の草履はライプチヒ国際博覧会の芸術メダルを獲得した。市級伝承者である計学成さん、彼が創作した『周遊列国』という草編み細工のバッグは、全国工芸美術展覧会の3等賞を受賞した。上海市模範労働者で上海の匠である王勤さん、彼女が創作した『花開く富貴』という草編み細工の装飾品は、第5回中国無形文化遺産博覧会の伝統工芸コンテストの草柳藤編み部門で第2位となった。さらにおびたしい数の草編み細工の匠が、自らの努力で徐行草編み細工を保護し、伝承している。



作为草编这项国家级非物质文化遗产的新一代继承人之一，王勤已经在这一行干了30余年。她在传承中不断创新，探索从传统平面编织转向立体编织，将草编与漆器、木器、瓷器、金属、竹子等不同材料相结合，采用3D打印建模等新兴技术，融传统工艺与现代元素于一体，使传统草编焕发出新的生命力。

國家級無形文化遺産である草編み細工の新世代の継承者の一人として、王勤さんはすでにこの業界で30年余り活動を続けてきた。彼女は伝承の中で絶えず革新を追い求め、伝統的な平面編みから立体編みへの転換を探究している。彼女は草編み細工と漆器、木器、磁器、金属、竹などの異なる材料を結びつけ、3Dプリントモデリングなどの新たな技術を採用して、伝統工芸と現代の要素を一体として融合させ、伝統的な草編み細工に新たな命を吹き込んでいる。

一件草编制品的背后，是匠人们为之付出的时间和汗水。春分、清明期间播下种子，趁着芒种时节移栽，等到大暑前后，黄草便长成了；将黄草揉软、晒干后，再进行去莖、开劈、染色、搓绞、模具和编织等六大步骤，织品才得以形成。



1つの草編み細工製品の背後には、職人たちが費やした時間と汗がある。春分、清明の期間に種をまき、芒種の時期に植え替え、大暑のころになると、黄草は十分に大きくなる。そして、黄草をもんで柔らかくし、乾燥させた後、先端部分を取り除き、葉を切り開き、染色し、こすってより合わせ、金型を使い、編むという6つの手順を踏んで、編み細工はようやく形になるのである。

徐行草编传承千年，活化利用，创新融合，彰显了文化传承的力量，迸发出了蓬勃的生命力，更好地满足了今天人民美好生活的需要。

徐行草編み細工は長きにわたって伝承され、活発に利用されて、革新と融合を経て、文化の伝承の力をまざまざと見せつけ、盛んな生命力をほとぼしらせ、現代の人たちのより良い生活へのニーズを満たしている。❏

供图 / 徐行镇文化体育服务中心



# 人生中难忘的三十天

## ——红溪孔院实习记

## 一生忘れられない三十日間

## ——紅溪孔子学院実習の記

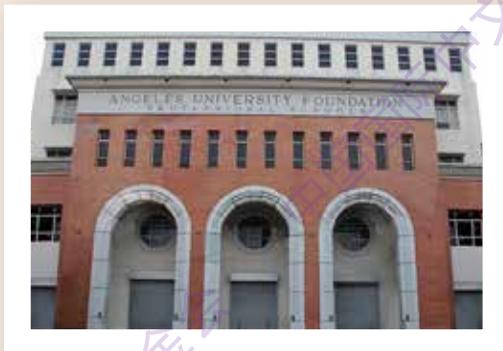


作者：张旸 張陽

翻译：谢秦 謝秦

今年7月，我偶然收到一位从前的学生发来的微信：“老师好啊！您最近过得如何？希望一切都好。这个周五，18级（注：菲律宾红溪礼示大学孔子学院2018级汉语师范专业）要毕业了，我打算给他们一个惊喜。我知道他们也很想念老师们，所以如果方便的话，我想邀请老师拍一段祝福视频，我觉得他们应该会很开心。可以吗？”

今年の7月、以前の生徒から突然メッセージが届いた。「先生、こんにちは、お元気ですか。この金曜日、18年度（注：フィリピン紅溪礼示大学孔子学院の2018年度中国語師範専攻を指す）の学生は卒業を迎えます。みんなは先生のこと大好きなので、サプライズに先生からビデオレターをいただければ、きっとみんな喜ぶでしょう。先生、お願いできませんか。」



记忆一下子把我拉回到2019年的暑假——在菲律宾红溪礼示大学孔子学院的那段难以忘怀的三十天实习之旅。

2019年夏休みの記憶は一気に蘇った。それはフィリピン紅溪礼示大学孔子学院での三十日にわたる実習生活のことだった。今も忘れられないものなのだ。

当时的指导老师蒙婷婷就像一位亲切和蔼的学姐，关心着我们的实习生活。在正式授课前的几次试讲中，她发现了我在教学上的不足，从教姿教态、教学语言、课程设计等多个方面提供了很多宝贵的意见。她从自身的教学经验中总结出很多实用的教学技巧，并毫无保留地教给我们。通过一次次观摩、一次次试讲，我的教学水平也逐步得到了提升。

若手教師の指導を担当するのが先輩の蒙婷婷さんだった。とても親切な方で、私たちの実習生活を心強く応援してくれた。正式に教壇に上る前に、模擬授業が行われた。彼女は、私の教学法について、言葉遣いや授業内容の構成そして体の動きまで熱心な助言をし、自身の教学経験に基づき、実用的なテクニックを惜し気もなく教えてくださったのである。授業見学や模擬授業を何度も重ねているうちに、私は教学に関して大いに心得たのである。



最让我感动的是我的学生们。见到他们的那天，红溪孔院的外方院长裴刚老师鼓励我上台试讲。于是我精心准备了几个小游戏，高兴地带着他们进行会话操练，不知不觉一节课就过去了。课后，我收到了学生们写的小卡片，上面写满了他们的夸赞和建议。我至今仍珍藏着每一张卡片，学生的鼓励是实习教师不断进步的动力，能得到本土学生的评鉴是难得的，也是最有意义的。

最も私を感動させたのは私の生徒たちだった。生徒と初対面の日に、紅溪礼示大学孔子学院の院長裴剛先生は、まず模擬授業をやってみようかと励ましてくださった。授業を盛り上げるために、私は事前にいくつかのゲームを用意しておいた。ゲームを通して会話の練習をしてみたところ、生徒たち

が大いに興奮し、授業は楽しくてあっという間に終了を迎えた。その後、生徒からメッセージカードももらった。励ましの言葉やアドバイス

など様々な内容のものが書いてあった。今もそれらを大事に保管している。実習教師として、生徒に認められ、更に励まされたことは、非常に意義のあることであり、成長のパワーともなったと私は思う。

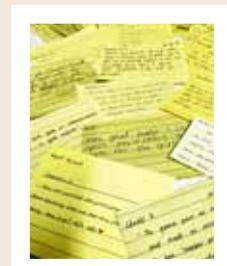
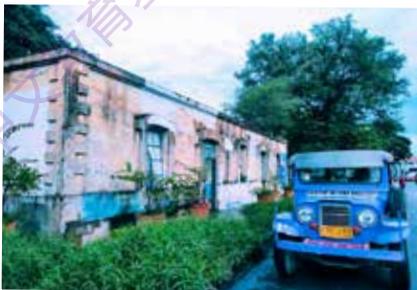
一个周日的下午，迎着安吉利斯（Angeles）的夕阳，我在宿舍附近一个斑驳的老车站漫步，突然意识到时光飞逝：不知不觉，一个月已然过半。说实话，我都有点舍不得走了。

ある日曜日の午後、アンヘレス（Angeles）の夕陽を眺めながら、私は寮の近くにある古いバスターミナルのあたりを散策した。光陰矢の如し、気づいたら三十日の実習の旅はすでに半分過ぎた。名残惜しい気持ちが沸き上がるばかりだった。

之前我以为，最深的思念从来都是不动声色、绝不轻易表达出来的。也许数十年后的梦中我还会想起这段在红溪孔院的实习时光：我记得指导老师的谆谆教诲，记得初上讲台时学生们的笑脸，记得辅导学生时的欢声笑语……我自己的性格也慢慢从拘谨内向变得开朗外向。在不知不觉中，这一切已成为我生命的一部分。

思念は心の奥にしまっておくもので、軽く口から出さないものだと思う。時間が経つとともに、紅溪礼示大学孔子学院での思い出は、数十年後また私の夢に思い浮べられるのであろう。指導先生の親切なお言葉や生徒たちの笑顔と笑い声とともに。皆さんとの出会いによって、もともと内気だった自分は朗らかになってゆき、このような体験が私の人生の一部になったとつくづく感じられたのである。 孔

供图 / 张昭



# 马西尼教授的故事

## マッシーニ教授の物語

作者：张枫茹 張楓茹  
翻译：韩宇 韓宇

2023年4月23日下午，在欧洲汉语教学协会（简称“欧汉会”）的会场上，一位身形颀长、气质儒雅的教授用标准而流利的汉语满怀热情地介绍着意大利的汉语教学情况和成果。他，就是来自意大利的世界汉语教学学会副会长、著名汉学家，曾任罗马大学副校长、罗马大学东方学院院长，现任罗马大学孔子学院外方院长的费德里科·马西尼教授（Federico Masini）。

2023年4月23日午後、欧州中国語教育学会(EACT)のシンポジウム会場では、長身で知性溢れる一人の教授が流暢な中国語を用いて、イタリアにおける中国語教育の現状と成果について熱心に紹介した。その名はフェデリーコ・マッシーニ、イタリア出身の中国研究者としてよく知られる国際中国語教育学会(ISCLT)の副会長だ。同氏はローマ大学副学長、ローマ大学東洋研究学部長などを歴任し、現在はローマ大学孔子学院院長を務めている。

费德里科·马西尼教授学习汉语40余年，从事汉语教学近30年，致力于汉学研究中西交流。2010年，为嘉奖他在文化传播领域作出的卓越贡献，中国政府为其颁发了“中意友好贡献奖”。

マッシーニ教授は、40年以上前から中国語を学び始め、30年近く中国語の教育並びに中国研究や中国との交流事業に尽力してきた。文化、コミュニケーションの分野における多大な貢献が評価され、2010年には中国政府より「中伊友好貢献賞」が授与された。

作为第四届欧汉会的承办方，南安普顿孔院有幸邀请到马西尼教授进行个人专访，让我们有机会进一步了解这位拥有传奇经历的汉学家的成长之路。

我々サウサンプトン大学孔子学院は欧州中国語教育学会の第4回シンポジウムの主催者として、マッシーニ教授にインタビューを申し込んだところ、快くご快諾いただき、異色の経歴を持つ中国研究者の軌跡を知ることができた。



马西尼教授在欧汉会现场

欧州中国語教育学会のシンポジウムにて基調講演をするマッシーニ教授



1976年、罗马意中友好协会开设汉语课程，16岁的马西尼第一次接触到汉语。“当时，意中友好协会是唯一可以学习汉语的地方。我们不能去中国留学，只能参加协会每周两次的汉语课。”作为中意建交后最早的一批汉语学习者，马西尼遇到的第一个困难是缺乏语境和教学资源。当时的意大利基本没有华人，为了创造语境，马西尼和他的同学绞尽脑汁地寻找与中国人交流的机会。“我和一个同学到离大学不远的中国驻意大利使馆门外，等里面的人出来，跟他们打个招呼。这些从使馆大门内出来的中国人是我最早看到的中国人。”说起这段“求学”经历，马西尼教授不禁莞尔。

1976年、ローマにあるイタリア中国友好協会では中国語講座が開講され、若きマッシーニは16歳で初めて中国語に触れた。「あの頃、中国語を学べるのは友好協会だけでした。中国に留学することはまだ認められていなかったもので、週に2回協会の教室に通うしかなかったのです。」と同氏は振り返る。中伊の国交が樹立されてから、初代の中国語学習者に当たるマッシーニ氏の前に立ちはだかるのは、学習素材および使用場面の欠如といった問題だった。当時、イタリアには中国系の住民はほとんどいなかったため、中国語の使用場面を増やすべく、他の受講生とともに中国人と交流する機会を必死に探していた。「大学にほど近い中国大使館の前で中国語

教室の同級生と二人で待ち構え、誰か出てくると挨拶に行ったものだ。僕にとって、実際に接した中国人といえば、大使館から出てきた皆さんが最初だったのかな」と、思い出にニヤニヤが止まらなかった。

高中毕业后，马西尼进入罗马大学文哲学院学习，主修语言哲学，同时开始利用课余时间到文哲学院的东方学部旁听汉语课。他回忆道：“刚开始在大学学习汉语时，我感觉最大的困难是发音和写字。发音的送气不送气、声调和鼻音，这三个是最大的困难。”没有录像带、没有中国老师、没有电脑软件，马西尼只能靠反复听、不断重复和练习提升语音技能。学了一段时间后，他发现词汇、语法和句型表达方式才是汉语最难的地方。

高校卒業後、ローマ大学文学・哲学部に進んだ同氏は言語哲学を専攻するかたわら、同大学の東洋研究学部の中国語クラスにも通い始めた。「大学で本格的な中国語学習を始めると、発音と漢字の書き方に苦労していた。発音のうち、有気音と無気音の区別、イントネーション、それから鼻音の3つが特に難しかった」と話した。中国人教師もビデオテープもソフトウェアもなかった時代、とにかく繰り返し聞いて、繰り返し練習するしか上達の道がなかった。勉強を続けていくうちに、語彙や文法、表現こそが中国語最大の難関であることに気づいた。

虽面临种种困难，但马西尼从未想过放弃。1983年，他获得了国家奖学金，第一次踏上中国的土地，来到北京语言学院（现北京语言大学）进修，后又转入北京大学中文系研修中国语言学。在北大期间，马西尼有幸遇到了很多中文教育乃至中文研究学界的专家和学者，如陆俭明、朱德熙、王力等，并向他们学习和求教，他们的为人处事和教学方法对马西尼产生了重要的影响。结束在中国的学习后，马西尼回到了欧洲，开始从事汉语教学和汉学研究工作。

どんな困難に直面しても、マッシーニ氏は決して諦めようとしなかった。1983年、彼は国費奨学金を得て、初めて中国に踏み入れた。北京語言学院（現北京語言大学）での研修を経て、北京大学中国語学部に入編し、中国語学を学んだ。北京大学在学中には、陸儉明、朱德熙、王力をはじめ、中国語教育や中国語学の専門家や研究者から学べる機会に恵まれた。その後、マッシーニ氏はヨーロッパに戻り、中国語教育と中国研究に取り組み始めたが、諸先生方の振る舞いや教育方針から大きな影響を受けることとなった。

回顾自己的汉学研究之路，马西尼教授说，自己最初学汉语只是对语言本身感兴趣，但随着语言水平的提高，他开始痴迷于对中国语言的历史、演变和文化等方面的研究。在北大研究中国语言学的时候，他的第一项研究课题是“现代语言学之父——瑞士语言学家弗迪南·德·索绪尔（Ferdinand de Saussure）”，为此，他还专门去王力教授家请教相关问题。他的第二项研究与词汇学有关，“第二项研究是关于现代汉语词汇的形成，主要是现代汉语的酝酿时期——‘鸦片战争’初期。



这本书（指《现代汉语词汇的形成：十九世纪汉语外来词研究》）我是用英文写的，因为当时在意大利没有出版商愿意出这本书，所以我是在美国加利福尼亚大学出版的英文版。后来从英文版翻译成汉语，又翻译成日语和韩语。现在这本书已经在韩国再版了三次。还有关于词汇的形成，我也写了好几篇文章，研究重点是词汇交流，主要是中国、日本、韩国这三个国家的词汇交流。”在此之后，马西尼教授开始了他的第三项汉学研究——中西交流研究，他和著名汉学家白佐良合著的《意大利与中国》一书被习近平主席赞誉，称其“为中欧交往架起桥梁”。

マッシーニ教授は、自らの中国研究のキャリアを振り返り、当初はただ言葉そのものに興味があったものの、中国語が上達するにつれて、言語の歴史や変化およびその背景にある文化の研究に夢中になったと語った。北京大学で中国語学を専攻した際、最初の研究テーマは「近代言語学の父と呼ばれるスイスの言語学者フェルディナン・ド・ソシュール」に関するもので、そのために王力教授のお宅を訪ね、直接助言をいただいた。二つ目の研究テーマは語彙論に基づいて、近代中国語の形成期、つまりアヘン戦争の初期における近代中国語の語彙の形成について考察したものだ。「この本（中国語タイトル『現代漢語詞匯の形成：十九世紀漢語外来詞研究』、英語タイトル『The formation of modern Chinese lexicon and its evolution toward a national language』）は英語で書いた。当時イタリアでは扱ってくれる出版者がなかった。その後、米・カリフォルニア大学出版社にて英語版が出版されたのを機に、中国語、さらに日本語と韓国語にも





翻訳され、出版されることとなった。韓国では、これまで3回も増刷を重ねてきた。ほかに、言語交流、主に中日韓の3カ国における語彙交流に焦点を当てた研究論文もいくつかある。」と丁寧に説明した。なお、3番目の研究テーマは、中国と欧米諸国の交流に関するものだ。もう一人の著名な中国研究者であるジュリアーノ・ベルトゥチオーリ（中国名：白佐良）氏との共著『イタリアと中国(Italia e Cina)』は、習近平国家主席から「中国とヨーロッパの交流の架け橋」と称賛された。

马西尼教授在研究语言的过程中反复强调“将语言作为一把钥匙，打开了解中国文化之门”。除了在研究“西学东渐”的过程中深入了解中国的历史文化，马西尼教授还孜孜不倦地阅读中国古代文学作品，如《三国演义》《金瓶梅》以及“三言二拍”等，还把一些作品部分翻译成意大利文——“我主要就是靠阅读这些著作来体会和理解中国传统文化的”。

長年語学研究に携わってきたマッシーニ教授は、「中国語の学習を手がかりにし、中国文化に出会う」ことの重要性を幾度となく強調した。西洋学問の東洋への伝播を受けて、中国の歴史と文化がどのように発展してきたかを深く考察するとともに、『三国志演義』、『金瓶梅』、『三言二拍』といった古代中国の文学作品も精力的に読み込み、他の文学作品もイタリア語に翻訳し、紹介した。「中国の古典を読むことによって、中国の伝統文化を体感し、理解することが多かった。」と同氏は明かす。

从1976年开始直到今天，马西尼教授学习汉语、研究汉语、教授汉语已有将近50年。在这条漫长的“汉语之路”上，他从未感到厌倦，也从未想过放弃。回顾自己的汉语研学之路，马西尼教授总结道：“没有好奇，任何语言都学不好。而学习语言也是开发大脑最好的办法。”他希望能有越来越多的外国人学习汉语，并能在语言学习中感受到好奇与快乐；他也希望汉语学习者能像他一样，在这条路上越来越自信、越来越乐观，握紧语言的钥匙，走向更广阔的世界。

1976年から今日にかけて、マッシーニ教授は50年近くにわたり中国語を学び、研究し、教えてきた。中国語との長いお付き合いの中、退屈を感じたこともないし、諦めようとも思わなかった。同氏は「好奇心がなければ、どんな言語も上手にはできません。言語の学習は脳の発達に一番効果的なのです。」と自らの中国語学習の旅を顧みて、次のように締めくくった。「より多くの外国人が中国語を学び、好奇心と喜びに満ち溢れるようになってほしいし、中国語学習者がみんな自信を深め、ポジティブになれるよう、言葉を手がかりに広い世界に羽ばたいてほしい。」**孔**

供图 / 张枫茹



# 大阪大学的中文话剧团

## 大阪大学の中国語劇団

作者：羽田美佳 羽田美佳

翻译：羽田美佳 羽田美佳

“……也许在任何革命里，死去最多的是男人，但受伤最深的是女人……”

「……どんな革命も、最も多く亡くなるのは男性ですが、最も深く傷つくのは女性なのです……」

这是2022年秋，大阪大学中文话剧团季公演《宋家三姐妹》中一个让人印象深刻的场景。这是宋庆龄在失去她的父亲、丈夫和儿子之后所说的台词。此时，她的悲伤、孤独和绝望让观众热泪盈眶。中国驻大阪总领事薛剑先生专程来到大阪大学观看此演出，并用鲜花表达了对大阪大学中文话剧团的鼓励与肯定。大阪大学中文话剧团曾公演过很多中日文化交流剧目，如《日出》《雷雨》《杨贵妃》和《白蛇传》等。

これは2022年秋、大阪大学中国語劇団シーズン公演『宋家三姉妹』の中での印象深いシーンの一つである。このせりふは、宋慶齡が父と夫、そして自分の息子を亡くしたときに嘆いたものである。このときの彼女の悲しみや孤独、絶望感が観客の涙を誘った。中国駐大阪総領事の薛劍氏は、公演を鑑賞するために大阪大学を訪ね、大阪大学中国語劇団に花を贈り、激励と肯定の意を表した。大阪大学中国語劇団はこれまでに、『日出』や『雷雨』『楊貴妃』『白蛇伝』など多くの日中文化交流の演目を公演してきた。

大阪大学中文话剧团已创立半个多世纪，其主要成员除了大阪大学外语系中文专业的学生，还有海外留学生，十分多元。话剧团使用中文进行表演，剧目题材广泛，既有著名的文学作品，也有剧团的原创作品。话剧团每年夏季与秋季举行定期公演，剧团成员通过这些演出展示中文学习成果，并以此加深对中国文化的了解，推进中日文化交流。

大阪大学中国語劇団は創立から半世紀余りの歴史を持っている。主なメンバーは大阪大学外国語学部中国語専攻の学生で構成されているが、海外からの留学生もいて、多様性にあふれている。劇団は中国語で劇を演じ、演目の題材は広く、有名な文学作品から劇団オリジナル作品まで多岐にわたる。劇団は毎年、夏と秋に定期公演を開催し、劇団のメンバーはこれらの活動を通して中国語学習の成果を示し、併せて中国文化をより深く理解し、日中の文化交流を推進している。

话剧团设有七个部门，每个部门分工不同，有演员部、字幕部、音响部、照明部、道具部、服装化妆部和宣传部。

劇団にはキャスト班、字幕班、音響班、照明班、道具班、衣装メイク班、広報班の7つの班があり、それぞれの班は活動内容が異なる。

每年的剧目都会从中国电影和连续剧中选取，演员部的演员们要学习并背熟中文台词，分析自己所扮演角色的性格，并磨练演技。在演出前，所有演员还要学习剧中的方言和古语，提高自己与角色的契合度，接受中国留学生给予的发音指导和建议，以提升表演水平和艺术效果。



2022年秋季公演《宋家三姐妹》

2022年秋季公演『宋家三姉妹』



2021年秋季公演《白蛇传》

2021年秋季公演『白蛇伝』



毎年、演目の題材は中国の映画やドラマから選ばれる。キャスト班のメンバーは中国語のせりふを学び、覚え、自分が演じる役の性格を分析して、演技を磨かなければならない。公演の前には、すべてのメンバーが劇中の方言や古語を学び、自分と役のマッチングの度合いを高めるよう努める。また、中国人留学生から発音の指導やアドバイスを受け、演技のレベルと芸術の効果を向上させている。

此外，字幕部为不懂中文的观众制作中文对白的日语翻译字幕，并在演出当天及时在大屏幕上播放。

このほか、字幕班は中国語がわからない観客に向け、中国語のせりふを日本語に翻訳した字幕を作成し、公演の当日、舞台の上の大きなスクリーンにタイミングを合わせて字幕を表示する。

音响部和照明部负责保证剧目的整体舞台效果和质量。具体来说，音响部的工作内容是演出前的开演播送、演出中的音效控制和演员的台词录音，以及演出结束后的音乐播放。照明部则需要充分调用舞台照明和聚光灯的色彩打造话剧的场景，渲染气氛。

音響班、照明班は劇全体の舞台効果とクオリティーの確保を担当する。具体的には、音響班は公演前の開演コールや劇中の効果音のコントロール、キャストのせりふの録音、劇終了後の音楽の放送を担当する。照明班は舞台の照明とスポットライトの色を調整し、劇の場面を演出し、雰囲気を盛り上げる。

道具部的成员们负责准备在舞台上使用的各种道具和舞台背景图。

道具班のメンバーは、舞台で使用するさまざまな道具や舞台背景の絵を担う。

服装化妆部负责为演员设计服装和妆容。

衣装メイク班はキャストの衣装のデザインやメイクを担当する。



最后，宣传部会把各部门的活动记录和照片上传到Instagram等社交平台上，并制作海报和小册子来宣传演出活动。海报是演出宣传的重中之重，从构图到拍摄、设计和制作，都由宣传部的成员负责。

最後に、広報班はそれぞれの班の活動記録や写真をInstagramなどのSNSに投稿し、ポスターやパンフレットを作成して公演の宣伝を行う。ポスターは公演の宣伝として最も力を入れており、構成から撮影、デザイン、制作まですべて広報班のメンバーが担当している。

对于中文系的学生们来说，参加中文话剧团不仅能提高中文口语能力和听力水平，还能声临其境地使用课堂上学到的中文进行演出，更深入地感受电影和戏剧要传达的信息。此外，所有部门的成员都有机会观看作为题材的电影和电视剧。剧团学员们不仅可以从电影、电视剧或演剧中学习中文，还能与高年级学生和留学生直接交流，这些都增强了他们学习中文的兴趣和热情。

中国語専攻の学生にとって、中国語劇団に参加することは、中国語のスピーキング能力やリスニング能力の向上につながるだけでなく、授業で学んだ中国語を使って公演を行うことで、映画やドラマが伝えるべき情報をより深く感じ取ることもできる。また、どの班のメンバーにも劇の題材となる映画やドラマを見る機会が与えられている。劇団のメンバーは映画やドラマ、演劇から中国語を学習するだけでなく、上級生や留学生と直接交流することで、中国語の学習に対する興味や熱意を高めることができる。

大阪大学中文话剧团的每次公演都能吸引很多观众，不仅有中文系的学生，还有其他外语专业的学生、高中生和社会人士等。通过这些表演，很多人都会对中文和中国历史文化产生兴趣，话剧团也希望通过公演给观众一个接触中文和中国文化的机会。剧团也会走进中国的大学校园，面对中国本土大学生们进行演出，这对于话剧团而言是非常难得的机会，成员们可以跟中国大学生直接对话，以此促进中日文化交流。相信在今后，大阪大学中文话剧团会继续发展壮大，成为中日文化间一座坚实的桥梁！

大阪大学中国語劇団の公演は毎回、多くの観客を集めている。その中には中国語専攻の学生だけでなく、他の外国語を専攻する学生や高校生、社会人などもある。公演を通し、多くの人たちが中国語や中国の歴史、文化に興味を持つようになった。劇団も公演を通じて、観客に中国語や中国の文化に触れるきっかけを与えたいと願っている。また、劇団は中国の大学のキャンパスへ行き、中国本土の学生に向けて公演を開催できるようになった。これは劇団のメンバーにとって非常に貴重な機会となっており、メンバーは中国の大学生と直接対話することで、日中の文化交流を進めることができる。これからも大阪大学中国語劇団が発展を継続し、日中の文化のしっかりとした懸け橋になると信じている。👏

供图 / 大阪大学中文话剧团



2022年夏季公演《阳光姐妹淘》

2022年夏季公演『陽光姐妹淘』



2023年夏季公演《温暖的抱抱》

2023年夏季公演『温暖的抱抱』

陶淵明  
 桃花源記  
 晉太元中 武陵人捕魚  
 緣溪行 忘路之遠  
 忽逢桃樹林 夾岸數百  
 中無雜 花芳草鮮美  
 英繽紛 漁人甚異之  
 欲窮其林

# 汉语小知识

## 中国語豆知識

作者：朴用夏 朴用夏

翻译（中文）：刘燕香 劉燕香

翻译（日文）：小林干夫 小林幹夫

汉字“广”是《通用规范汉字表》中的一级汉字，发音有guǎng、yǎn和ān。“广(guǎng)”与“狭”相对，是“廣”的简体字；“广(yǎn)”是汉字的一个部首；“广(ān)”，同“庵”，多用于人名。

漢字の「广」は『通用規範漢字表』に記載された一級漢字で、発音としてはguǎng、yǎnとānがある。「广(guǎng)」と「狭」は正反対の意味で、「廣」の简体字である。「广(yǎn)」は漢字を構成する部首で、「广(ān)」は「庵」同じ字で多くは人名として用いられる。

廣 廣 廣 广 広

金文  
金文

说文  
説文

繁体字  
繁体字

简体字  
简体字

异体字  
異体字

“广（guǎng）”为形声字，由义符“广（yǎn）”和声符“黄（huáng）”组成，在《说文解字》中的释义为“殿之大屋也，从广，黄声”。

「广（guǎng）」は形声文字で、表意部の「广（yǎn）」と表音部の「黄（huáng）」で構成され、『説文解字』の解釈によれば「宮殿の如く広壮で、字の表意は広で表音は黄である」とある。

“广（yǎn）”是汉字的一个部首，意为“靠着悬崖修建的建筑物的屋檐”，被认为是“庵”的初文。以“广（yǎn）”为义符的汉字，大多与建筑、房屋或者场所有关。对于“黄”的本义，有“土地”说、“玉佩”说等。从把“黄”解释为“腰上系着黄佩玉的人”来看，“广（guǎng）”可被理解为“佩玉的、有高贵身份的人居住的又大又宽敞的建筑物”。

「广（yǎn）」は漢字の部首の一つで、「断崖に靠れかかるように建てられた建築物の軒」を意味し、「庵」の本字と考えられている。「广（yǎn）」の表意を持つ漢字の多くは、建築や建屋あるいは、場所に関連したものである。「黄」の字の本義は「土地」だという説と、「玉佩」を表すとの説などがある。「黄」を「腰に黄色の佩玉をつけた人」という解釈から見れば、「广（guǎng）」は「佩玉を身に着けることのできた高貴な身分の者の住居で大きくて広々とした建築物」と理解される。

“广（guǎng）”表示“大而宽敞的建筑”时，引申出“宽广”“大”“盛大”“远大”“扩大”“多”“宽厚”“宽度”等多重含义。“广”是“广东”和“广州”的简称，“广东”和“广西”可以合称为“两广”。

「广（guǎng）」が「大きく広々とした建築」を表す場合は、「寛大」「大きい」「盛大」「遠大」「拡大」「多い」「広く厚い」「広さ・幅」などのその意味は多義に渡る。「広」は「広東」と「広州」の略称で、「広東」と「広西」はあわせて「両広」と言える。

带有“广（guǎng）”字的词语有“广阔”“广袤”“广漠”等，成语有“见多识广”“神通广大”“兵多将广”等。

「广（guǎng）」を持つ字には「広闊」「広袤」「広漠」などがあり、成語では「見多識広（経験が豊富で知識が広い）」「神通广大（優れた腕前）」「兵多将広（将兵が多く、兵力が強い。人手が多く、人材がそろっている）」などがある。 ㊦

供图 / 汉典

# 二十四节气

## 二十四節氣

作者：何芷翌 何芷翌

翻译：谢秦 謝秦

# 小暑

小暑



“小暑”又称“六月节”，是农历二十四节气中的第十一个节气。小暑在每年公历7月6日至8日之间，正是“三夏”中的季夏开始之时。“小”表程度较低，“暑”指炎热，“小暑”即指天气开始炎热。随着小暑的到来，炎热的盛夏也就正式登场了。



「小暑」は「六月節」とも呼ばれ、二十四節気の十一番目の節気である。太陽暦の毎年七月六日から八日の間に当たり、「三夏」の季夏の始まりとされる。「小」とは程度のほどを意味し、「暑」とは炎熱を意味するところで、「小暑」はこれから暑気が強くなることを指すのである。小暑の到来とともに、蒸し暑い夏がいよいよ登場するのである。

小暑过后，华北地区迎来雨季，降水明显增加且雨量集中；而南方地区则进入高温、高湿的时期，频繁出现的雷雨、热带风暴和台风虽能带来一定量的降水，缓解农田干旱的问题，但有时也会对部分旱生农作物生长带来不利影响。所以，在小暑时节，南、北方大部分地区要高度警惕洪涝灾害发生，并做好雷暴的预防工作，减少雷电对人畜、建筑物以及交通设备造成的危害。



小暑に入ると、華北地方は雨季を迎える。降水量の増加が著しく、集中豪雨も見られる。南方地方では高温高湿の天候に変る。雷雨、熱帯暴風雨また台風が多発によって降水量が一段と増え、早魃の緩和に有利であるが、乾生農作物の成長の妨げにもなる。したがって、小暑期間中、南北を問わず洪水被害を警戒し、雷雨や暴風の発生による人々の生活、家畜、建物、交通設備への被害に備える必要がある。

北方地区在小暑有吃饺子的传统。“头伏饺子，二伏面，三伏烙饼摊鸡蛋。”伏天里，人们容易食欲不振，而饺子正是开胃解馋的食物。在民间，还有小暑吃新藕的习俗。藕含有大量的碳水化合物及丰富的钙、磷、铁和多种维生素，具有清热、养血的功效，适合夏天食用。此外，小暑前后还是吃黄鳝的好时节，黄鳝性温味甘，具有补中益气、除风湿、强筋骨等作用，根据冬病夏补的说法，小暑时节最宜吃黄鳝。

華北地方では、小暑にギョウザを食べる風習がある。「初伏のギョウザ、二伏の面、三伏の烙餅に焼き卵」（烙餅とは中国式焼きパンのこと）という言い方のあるように、三伏に入ると、食欲が落ちやすいので、ギョウザが食欲をそそるのに最適な食べ物だと思われる。地方ではレンコンを食べる風習も見られる。レンコンは炭水化物が多く含まれ、カルシウム、磷、鉄分とビタミンも豊富で、解熱や補血などの効能があり、特に夏にぴったりの食材である。小暑のころの田鰻が旬のものである。田鰻は漢方薬の気味概念からいうと、性温味甘の部類に入り、「補中益气」（胃腸の消化、吸収機能を整えて、病気に対する抵抗力を高める）の効能があるほか、リウマチなど風や水によって筋肉や関節に起こる病気を治す働きがある。「冬病夏治」（冬に起こりやすい病気を夏の時期からケアする治療法のこと）の理念では、小暑のころ田鰻を食べるのがよいとされる。



小暑时节，萤火虫也开始活跃起来，孩子们常常在田野、树林里追逐一闪一闪的萤火虫，相互之间嬉戏打闹，好不热闹。传说农历“六月六”（正值小暑）是龙宫晒龙袍的日子，因为小暑时节雨水多，室内物品容易受潮发霉，所以很多地方至今仍流传着“晒伏”的习俗。人们会趁着阳光充足的天气，把家里的衣服、棉被等物品拿出来晒一晒，让阳光祛除这些日常用品上的细菌。

小暑は蛍の活躍する時期でもある。田畑や林の中で子供たちはピカピカと光る蛍を競って追いかける風景は微笑ましいものである。太陰暦の六月六日（ちょうど小暑の時期である）に、竜宮では竜袍を干す日であるという言い伝えがあるように、小暑に入ると、湿気が多くなるため、室内の物品にカビが生えやすいので、「晒伏」という風習は多くの地域で受け継がれてきた。天気の良い日に、人々は服や布団を日に干し、陽光にあたることで除菌の効果を期待するのである。

# 二十四节气

## 二十四節氣

作者：何芷翌 何芷翌

翻译：谢秦 謝秦

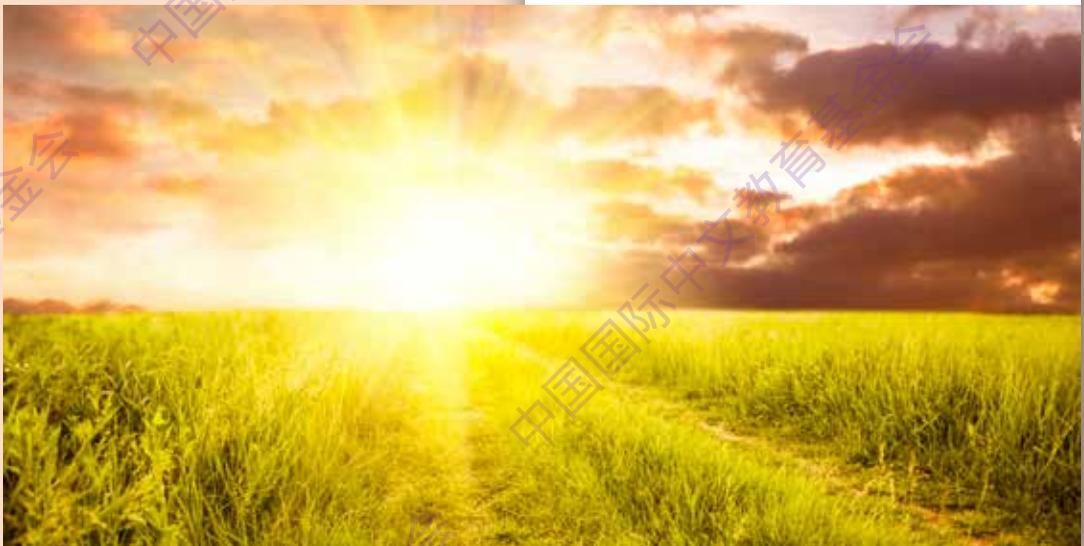


“大暑”，顾名思义，就是天气非常炎热的意思。大暑是二十四节气中的第十二个节气，也是夏季六个节气中的最后一个。在现代，人们将大暑定为每年公历7月22日至24日之间。这个时节也是我国大部分地区整个夏天甚至一年中最热的时期。

「大暑」は名の通りに大変な酷暑を意味する。二十四節気の十二番目の節気で、夏季にある六つの節気の最後の一つである。太陽暦で毎年の7月22日から24日の間とされる。大暑に入ると、中国全土は一年の最も暑い時期を迎えるのである。

这一节气最突出的特点就是热。在此期间，整个长江中下游地区就如同一个大火炉，骄阳似火，风小、湿度大，让人闷热难当。此时，做好防暑降温的工作就显得尤为重要。

この節気の最大な特徴は一言で言うと「暑」である。特に、長江（揚子江）中下流域の平原はまるで大きなストーブに化する。燃えるほどの暑さの中、風が殆どなく、湿度が高いため、蒸し暑い日が続くのである。この時期防暑対策をしっかりと考える必要がある。





对于农业生产而言，大暑节气正值“三伏天”里的“中伏”前后，是一年中日照最多、气温最高的时期，这时农作物生长快，抢收早稻、抢种晚稻的“双抢”工作非常紧张。酷暑盛夏，水分蒸发特别快，生长旺盛的农作物对水分的要求更为迫切，真是“小暑雨如银，大暑雨如金”。由于喜热农作物在这一时期生长速度最快，许多植物长出茂密的枝叶，这恰好给动物们提供了避暑的宝地。许多动物或找阴凉的地方生活，或改变生活习性，或干脆躲起来，以度过这段酷暑时期。

大暑是三伏的「中伏」前後に当たり、一年において、最も日照りが長く気温の高い時期であるが、農業生産にとって農作物の成長期でもある。そのため、早稲の刈り入れ、晩稲の種まきなど、農作業が一段と忙しくなり、まさに時間の争奪戦が広げられる。酷暑のため、水分の蒸発が激しいので、成長期を迎える農作物は水分補給が迫られる。「小暑の雨は銀の如く、大暑の雨は金の如し」と言われる通りである。この時期の植物も旺盛な成長ぶりを見せている。その茂みは動物たちの避暑のたまり場になっている。多くの動物は、酷暑に耐えられるために、物陰に隠れる生活に強いられ、生活習性まで変えられるほどである。

大暑时节，华北地区有“喝暑羊”（即喝羊肉汤）的习俗。经过紧张的夏收劳动，人们非常疲倦，喝一碗味道鲜美的羊肉汤来补充体力再好不过。大暑时节也是乡村田野蟋蟀最多的时候，大人们会带着孩子到田野里抓蟋蟀，然后到大树下玩斗蟋蟀的游戏。此外，广东地区还有“吃仙草”的习俗。“仙草”就是凉粉草，具有清热消暑的功效，所以被称作“仙草”。将凉粉草磨成粉，制成糊状，品尝起来甘甜清爽，是一种非常受欢迎的消暑甜品。如今，仙草产品不断推出，吸引着越来越多的消费者。仙草和水果等食物搭配在一起食用，不仅清凉消暑，还能给食客们带来酸酸甜甜的味蕾享受。

大暑に、華北地方では「暑羊を飲む」（羊肉で煮込んだスープを飲む）という風習がある。緊張感に溢れた夏の畑仕事を終え、疲れた体をこの美味しいスープで癒し元気づけられるのである。コオロギがこの時期最も多く見られる昆虫である。大人たちは子どもをつれて田んぼでコオロギを捕まえて、木陰でコオロギを闘わせ、虫王（チャンピオン）を決める、つまり「闘蟋」という遊びを楽しむ。更に、広東地方では「仙草を食べる」風習がある。「仙草」は「涼粉草」（中国原産のシソ科メソナ属の植物）とも呼ばれ、解熱や暑気あたりを予防する効果がある。仙草を粉状にして煮詰めて作る仙草粥は、甘味があってあっさりとした食感で、夏バテを防ぐのにぴったりのデザートである。今は仙草関連の食品は多く考案され、ますます人気を呼ぶようになった。仙草とフルーツを取り合わせた食べ方も涼しげのあるものとして、暑気あたりを予防し、酸味と甘味を調合した特殊な味わいに人々は舌鼓を打つのである。 **孔**



# 「花城」广州

# 「花城」 广州

供稿：广东外语外贸大学 广东外语外贸大学

作者：李敏俐 李敏俐

翻译：桥本和子 桥本和子



广州，位于中国华南地区，是一座充满人文关怀的城市，享有“花城”的美誉。

広州は中国の華南地域に位置し、人間らしい思いやりに満ちた都市で、花の都「花城」という美しい名前を博している。

广州的雅称“花城”最早出现于清代广州府管辖的花县，即现在的广州市花都区。20世纪60年代，文学大师秦牧在散文作品《花城》中这样描述：“看着繁花锦绣，赏着姹紫嫣红，想起这种一日之间广州忽然变成了一座‘花城’，几乎全城的人都出来深夜赏花的情景，真是感到美妙。”这部作品描绘的人山人海、繁花锦绣的广州市盛况令人心驰神往，广州“花城”的称号也因此响亮起来。

広州の「花城」という風雅な呼称が最も早く現われたのは清代広州府が管轄する花県、即ち現在の広州市花都区である。1960年代、文学の泰斗である秦牧は散文作品『花城』の中にこう記述している。「色とりどりの美しい花が咲き乱れる姿を愛でていると、こんなふうにより一日のうちに広州が突如「花城」に変身してしまい、街中の人々がほとんどみんなこぞって外に繰り出し深夜に花を觀賞するような情景が思い起され、まことにこの上なく麗しいものだ。この作品に描かれている、多くの見物客でごった返し、色とりどりの花が咲き競い合う広州の花市の盛況ぶりには、だれもがうっとりし心を奪われてしまう。広州の「花城」という呼び名もこれによって人びとに広く知られるようになった。





广州之所以叫“花城”，是因为这里四季都会有鲜花相伴。初春三月，整座城市都被姹紫嫣红包围。漫步于广州的街头小巷，无处不浪漫，无处不飞花，你可以随时邂逅一场与粉色有关的浪漫约会，满足对春天的所有幻想与期待。盛夏六月的荔湾湖，微风拂过，泛起阵阵涟漪，荷叶随风摇曳，阳光轻洒在含苞欲放的荷花上。金秋十月，搭上一趟有轨电车，马路旁的美丽异木棉夹道相迎，仿佛置身于漫天粉色烟火之中。隆冬一月，郁金香恣意绽放，吸引着慕名而来的游客，沐浴在柔和的阳光之下，仿佛走进了莫奈的花园。在追求美的新时代里，“鲜花经济”成为拉动广州经济增长的一支重要力量。广州拥有种花面积10万多亩、鲜花品种2000多个，全中国超过60%的观赏型室内植物也都发自广州。因此，广州被称为“世界花卉之都”毫不为过。

広州が「花城」と呼ばれるのは、ここには四季を通じて美しい花が咲き誇っているからである。初春3月、街全体が色とりどりの美しい花々に包まれる。広州の大通りや横丁をそぞろ歩くと、いたるところにロマンチックな雰囲気が漂い、花びらが舞い踊り、いつでも薄紅色に包まれたロマンチックな逢瀬に出会うことがあるし、春という季節へのあらゆる幻想と期待を満たしてくれる。盛夏6月の荔湾湖は、そよ風が

そっと頬をかすめ、水面にはさざ波が立ち、ハスの葉が風にゆらゆらと揺れて、つぼみのふくらんだハスの花には陽光が静かに注いでいる。金秋10月、路面電車に乗ると、大通りの両側ではトクリキワタの並木が迎えてくれる。まるで満天に広がるピンク色の花火の中にいるかのようだ。厳冬1月、チューリップが自由気ままに咲きほころび、その姿を一目見ようと訪れた観光客の心を引きつけている。和らかな日差しを浴びていると、さながらモネの庭園に入り込んだかのようだ。美を追求する新たな時代の中で、「花卉経済」は広州の経済成長を牽引する重要な力になっている。広州の花卉栽培面積は10万ムー（1ムーは約6.667アール）を超え、品種は2000種以上にのぼり、全国の室内観賞用植物の60%以上が広州から出荷されているので、広州が「世界の花弁の都」と称されるのは少しも言い過ぎではない。



广州人自古就对鲜花情有独钟。明末清初，学者屈大均在《广东新语》中写道：“广州花贩，每日分载素馨至城，从此上舟，故名花渡头”——1700年前五代南汉时期，珠江南岸庄头村广种素馨花，花农每天早上都会驾船满载素馨花入城卖花。早上现采的鲜花格外新鲜，花农挨家挨户送花上门，就和现在每日送新鲜牛奶上门一样常见。南宋人周去非在《岭外代答》中所写的“或以竹丝贯之，卖于市，一枝二文，人竞买戴”，描绘了花贩在集市上卖素馨花、人们争相购买的情景。到了明末清初，广州形成了初具规模的花市：花贩将花摆在城门口，方便人们购买，买花的人摩肩接踵，一派欣欣向荣的景象。广州花市传承至今，已经深入广州人的日常生活之中。每逢腊月二十八至除夕夜，广州都会开放“八大花市”，有许多人会慕名前来。广州人爱逛的花市有越秀区西湖花市、天河区体育中心花市和海珠区沿江西路花市等。这时候的地铁里，人们身旁常有各色鲜花相伴，踏入车厢，仿佛置身于花海——这是独属于“花城”广州的浪漫与幸福。

広州の人びとは昔から何よりも花を愛してやまない。明末清初、学者である屈大均は『広東新語』にこう記している。「広州の花販、毎日素馨を分載し城に至り、此から舟に乗る。故に花渡頭の名あり」——1700年前、五代十国時代の南漢（広東省、広西チワン自治区、ベトナム北部を支配した地方政権）の頃、珠江南岸の庄頭村ではソケイ（素馨：ジャスミンの仲間）の花が広く栽培され、花農家は毎朝ソケイの花を船に満載して町にやってきて販売した。朝摘みしたばかりの花はとりわけ生き生きと美しく、花農家はその花を家々の庭先まで届けていた。それは現在毎日新鮮な牛乳を宅配してくれるのと同じで、よく見られる光景だった。南宋の人、周去非は『嶺外代答』の中に「或は竹糸で之を貫き、市で売る、一枝二文、人競って買い戴く」と記しているが、これは、花商人が露店市でソケイの花を売り、客が競って買い求めるようすを描写したものだ。明末清初になると、広州ではそれなりの規模を備えた花市が整備された。花商人は城門の入口で花を並べて売ったので、人びとが買うのに都



合がよく、多くの花を買い求める客でごった返すといった活気に満ちた光景が繰り広げられた。広州の花市は現在までずっと継承され、広州の人びとの日常の暮らしに深く浸透している。毎年旧暦12月28日から大晦日の夜まで、広州では「八大花市」が開かれ、それを目当てに多くの人がやってくる。広州の人びとに人気のある花市は、越秀区西湖花市、天河区スポーツセンター花市と海珠区沿江西路花市などである。花市が開かれる時期、地下鉄では、乗客が傍らに常に鮮やかな色とりどりの花を持っている姿がみられ、車輻に乗り込むと、まるで花の海に迷い込んだかのようなのである。これこそが「花城」広州でしか見られないロマンと幸福なのだ。

人潮汹涌的花市上，道路两旁摆放着各式各样的鲜花，到处都洋溢着满满的幸福感。人们带着家人或朋友，边聊天，边逛花市。无论是商场还是酒店，总会在大厅摆上一棵挂满红包的年橘。在粤语中，“橘”和“吉”读音相同，因此年橘有“吉祥如意”的美好寓意；金灿灿的橘子就像沉甸甸的珠宝寄托着人们“招财进宝”的心愿。而在日常居家装饰中，人们喜欢在客厅插上一株挂满彩灯的桃花。桃花有“花开富贵”之意，在粤语中，“红桃”与“鸿图”谐音，象征着人们会在事业上大展鸿图，也承载着“行桃花运”的美好愿景。满树的点点红星，更是营造出一种“红红火火过大年”的气氛。

人波でごった返す花市では、道路の両側に色とりどりの花々が並べられ、辺り一面が幸福感に満ちあふれている。人びとは家族や友



人たちと連れ立ち、おしゃべりに興じながら花市を楽しんで見て回っている。ショッピングモールでもホテルでも、ホールやロビーにはたくさんの祝儀袋を吊るした「年橘（ミカンの木）」が置かれている。広東方言では「橘」と「吉」の読み方が同じため、「年橘」には「吉祥如意」というおめでたい寓意が込められている。金色に輝くミカンには、ずっしりと重い宝石のように、「大金を招き寄せる」という人びとの願いが託されている。また、日常の自宅での飾り付けについては、たくさんの電飾を施した桃の花をリビングルームに置くのが好まれている。桃の花には「花が開いて富貴になる」という意味があり、広東方言では、「紅桃」と「鴻圖」の字音が同じで、事業を大いに発展させ大志を実現させることを象徴し、また「愛情運に恵まれる」という美しい未来への願いをもこめているのだ。木にいっぱいついているきらきらと輝く赤い星が、「活気のあるにぎやかな春節」を迎える雰囲気をもさらに盛り上げている。

“没有鲜花的生活，就像没有餐具的盛宴。”鲜花是每一位广州人独特的记忆，寄托着人们对生活的热爱和对美





好的期许，是烟火人间不可缺少的一缕馨香。在广州这座充满花香诗意的城市里，鲜花就是独特的城市“名片”，不仅见证着这座城市的发展与变迁，还带着美好的寓意，陪伴和祝福着一代又一代广州人。

「花のない暮らしは、食器のない盛宴のようなものだ」。すべての広州の人にとって花はかけがえのない心に残る記憶のよりどころであり、人びとの暮らしへの熱い思いや美しいも

のへの期待が託されている、日常生活になくはならない一縷の芳しい匂いなのだ。花の香りと詩情に満ちあふれるこの広州という街において、花はこの街を表すユニークな「顔」であり、広州の発展と変遷を見つめる目撃者であるだけでなく、美しい寓意をも携えて、一世代また次の一世代へと広州の人びとに寄り添い、幸せを祈っている。🌸

供图 / 李敏俐





# 横琴之行

## 横琴の旅

供稿：中山大学 中山大学

作者：苏文 蘇文

翻译：章胤杰 章胤傑

2022年的暑假，我参加了学校组织的社会考察活动——国际学生横琴行。此前我从来没去过横琴，仅仅在网上看过这个名字，只知道它是一个离珠海和澳门很近的地方，这次活动是了解这里的好机会。

2022年の夏休み中、私は学校が主催した「留学生の横琴の旅」という社会調査活動に参加した。私は今まで横琴に行ったことがなく、インターネットで名前を見ただけで、珠海やマカオに近い場所だということしか知らなかった。今回のイ

ベントは、ここを知る良い機会となった。

经过两个小时的车程，我们终于抵达了横琴。第一感受是横琴的人相对比较少，没有广州那么拥挤，从这一点来看，我感觉这里十分宜居。四周都是新建的楼房，马路看起来也是新建成的，两旁的树木在风中微微摇动，横琴在用它的“语言”告诉我们，这是一个年轻的特区。来到横琴，我们的主要任务是采访两家公司，在采访的过程中我真切地感受到，横琴除了宜居，还有更多“宜人”的地方。

車で2時間ほど移動し、我々はようやく横琴に到着した。最初の印象は、横琴は比較的に人が少なく、広州ほど混雑していないことだ。この点から見て、横琴は住みやすいところだと感じた。周りは新しく建てられたビルばかりで、道路も新しく整備されたようで、両側の木々が風に微かに揺れるなど、横琴が新しい特区であることはよく伝わってくる。私たちが横琴に来る、主なミッションは2つの会社にインタビューすることだった。インタビューを通して、横琴は住み心地がいいだけでなく、人に優しいところでもあつづく感じた。

我和另外两位同学负责采访跨境说网络科技有限公司。起初我还是挺紧张的，因为这是我第一次正式采访公司领导，但是当我见到负责人周运贤先生时，他十分友好地跟每个同学握手，问我们从哪里来，当他说他在镜头前也会紧张的时候，我们都笑了，瞬间没有了一丝紧张。周先生告诉我们，他们的跨境电商公司之所以建在横琴，是因为横琴是珠海的经济特区。刚毕业的年轻人想要创业，在横琴就可以享受各种补贴，甚至可以免费租用办公室；这不仅给年轻人创造了更多的机会，也带动了横琴的发展。





私はほかの学生2人と一緒に、跨境説ネットワーク科技有限公司（Bringbuys）へのインタビューを担当した。企業トップへのインタビューは初めてだったので、最初はかなり緊張していたが、担当者の周運賢さんに会うと、彼はとても親切に学生一人ひとりと握手し、どこから来たのかと聞いた後、自分もカメラの前では緊張すると言ってくれた。みんなが笑って、一瞬にして緊張が解けた。周さんによると、彼らの越境EC会社が横琴にできたのは、横琴が珠海の経済特区だからだという。新卒で起業を志す若者は、横琴でさまざまな補助金を受け取ることができ、無料でオフィスを借りることさえできる。これは若者により多くのチャンスを与えるだけでなく、横琴の発展を後押しすることにもなっている。

说到跨境电商，我觉得中国的电商已经做得很成熟了，所以我很好奇为什么周先生可以在竞争如此激烈的电商领域把公司经营得很好。周先生告诉我们，跨境说网络科技有限公司坚持“全球要素、远程协同、本地配置”，将“乡村振兴”与电商结合，让农产品走出去。他们不仅前往世界各地做市场调研、寻找消费者，还回到自己的家乡，帮助村里的父老乡亲把农作物卖到世界各地，一切的设计包装和物流都由他们来负责。在做好自己一番事业的同时还能拉动家乡的经济，我真的很佩服他们，甚至想让他们帮忙把我们印尼的特产运到中国来卖。

越境ECに関して言えば、中国の電子商取引はすでに非常に発達していると私は思っている。そのため、なぜ彼がこのような競争の激しい電子商取引の分野で会社をうまく運営できるのかについて、非常に興味があった。周さんは、跨境説ネットワーク科技有限公司が連携による世界中の要素の効率的な配置という原則を堅持し、農村の活性化とEコマースを組み合わせ、農産物を売り出していると説明してくれた。彼らは世界中を回って市場調査を行い、消費者を見つけるだけでなく、故郷に帰って村の人々が農作物を世界中に販売する手助けをし、デザイン、パッケージング、ロジスティクスのすべてを担っている。私は彼らが事業をうまく回すと同時に、故郷の経済を活性化させていることを本当に尊敬しているし、我々インドネシアの特産品を中国に輸入して販売するのを手伝ってほしいとさえ思った。



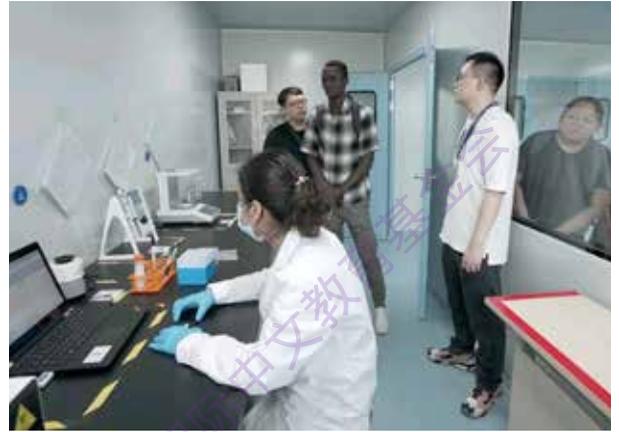
国際学生采访跨境説网络科技有限公司负责人  
留学生が跨境説ネットワーク科技有限公司の担当者にインタビュー



第二家公司是一家生物技术公司，名叫迪奇孚瑞，主要研制可以快速检测病毒的机器。和跨境说网络科技有限公司一样，他们能走到现在，也离不开中国政府对横琴的政策扶持。在横琴有许多这样年轻、充满活力的公司，也许他们不是声名远扬的大公司，但却实实在在地为年轻人创造机会、为科技发展作贡献、为地区带来经济收益，他们在横琴这块“小”地方自由“生长”。

2社目は、迪奇孚瑞 (Digifluidic) というバイオテクノロジーの企業で、主にウイルスを素早く検出する機械の開発に注力している会社だ。跨境説ネットワーク科技有限公司と同じく、彼らがここまで来れたのは、横琴に対する中国政府の政策支援のおかげにほかならない。横琴には、このような若くてエネルギーギッシュな企業が多くある。彼らは大手で有名な企業では

ないかもしれないが、確実に若者にチャンスを与え、科学技術の発展に貢献し、地域に経済的利益をもたらしている。彼らは、横琴という小さな場所で自由に成長しているのだ。



国际学生参观迪奇孚瑞  
留学生が迪奇孚瑞を訪問



在横琴的几天刚好遇到台风，一直在下雨，而且是倾盆大雨。为了更充分全面地了解横琴，我们随机采访了一些路人，想听听他们对横琴的看法。第一次，我们采访到一位来自广东的女士，她在横琴待了五六年，感受是横琴的交通更加便利：以前从横琴去斗门只能开车，现在有公交直达了。第二次，我们采访到一位来自河源的先生，他的回答引发了我的思考。他说：“应该会挺长时间待在横琴，因为政策支持各方面都挺好的。”路人就说政策好，说明这里真的很适合年轻人工作。后来，我们又采访到了一位来自乌干达的外国友人，他说这里的天气变化比较大，上周非常热，这周却大雨倾盆，但是一说到在横琴工作，他就开始变得轻松愉快起来，他说他在横琴长隆海洋世界工作，那里有很多外籍员工，他很喜欢这里。

横琴で過ごした数日間はいにく台風に見舞われ、しかも土砂降りが続いていた。横琴のことをより深く理解するために、私たちは通りかかった人にランダムで何人かインタビューし、横琴に対する彼らの見解を聞いてみた。最初は、横琴に5、6年間住んでいるという広東省出身の女性にインタビューした。彼女の感想は、横琴の交通がとても便利になったということだ。例えば、横琴から闘門へ行く場合、以前は車でしか行けなかったが、今は直通のバスが運行されているという。二人目は、河源から来た男性だったが、その回答にはよく考えさせられた。彼は、政策的なサポートがあらゆる面で充実していることから、おそらく横琴で長く暮らすだろうと述べた。一般市民が「政策がいい」と言うのは、若者に

にとって本当に働きやすい場所であることを示している。その後、私たちはウガンダから来た外国人にインタビューした。彼によれば、ここの天気の変化が激しく、先週はとても暑かったが、今週は土砂降りが続いているという。しかし、仕事の話になると、彼はリラックスして楽しそうになった。彼は、横琴長隆海洋世界で働いており、そこには多くの外国人従業員がいて、とても気に入っていると語ってくれた。

说到就业，我们都避不开纳税。我印象中的纳税是像去银行办理业务一样，每次都要在大厅里排很久的队。可是当我们参观横琴税务局时，我才知道原来纳税可以如此方便快捷。我们在横琴的第三天，一早就来到横琴税务局，发现来这里办税的人真的不多。接待人员带我们参观大厅，可是这里没有“服务窗口”。还没等我开口问，她就开始介绍了。在这里办税，主要是电子办税，而且是自助的，我们甚至都不用来办税大厅，在家里就可以线上轻轻松松办税。怪不得我们在现场没看到多少人，原来大家都在家里办税呢！税收管理科的白晓枫科长告诉我们，除了电子化，还有一点很吸引年轻人和企业来横琴发展，那就是高新技术企业所得税的税率从25%减至15%，这一优惠政策确实为横琴带来了许多生机。

仕事の話をする、誰もが避けられないのは納税のことだ。私の印象では、納税は銀行に行くようなもので、毎回、ホールで長時間並ばなければならないものだった。しかし、横琴の税務局を訪れてみると、納税はこれほど便利で迅速にできるものだと初めて実感した。横琴滞在の3日目、私たちは早朝に横琴税務局に到着したが、そこに税金を納めに来る人は多くなかった。係員がホールへ案内してくれたが、「サービスカウンター」はなかった。私が尋ねる前に、彼女は私たちに紹介し始めた。横琴での納税は主にセルフサービスの電子申告であるため、税務署に来る必要もなく、自宅で簡単にオンライン申告ができるという。みんなが自宅で納税しているから、道理で税務署には人が少ないわけだ。税務管理課の白



那来横琴已经多久了？

本文作者（左）采访路人

筆者（左）が通行人にインタビュー

晁楓課長は、電子化のほかに、若者や企業を横琴に惹きつけるもうひとつの魅力があると言った。それは、ハイテク企業の所得税率が25%から15%に引き下げられたことであり、この優遇政策は確かに横琴に多くの活力をもたらしているのである。



国际学生体验自助办税  
留学生がセルフサービスの納税を体験

刚开始提到横琴，浮现在我脑海中的是一座美丽的沿海新区，而现在看到“横琴”二字，我想到的却是那些在横琴工作的年轻人。雨中的横琴，马路在雨水的清洗下和路灯的照射下显得格外干净。这里不仅美丽，还充满活力。

当初、私が横琴と聞いて思い浮かべたのは美しい海岸沿いのニュータウンだったが、今や「横琴」という二文字を見ると、横琴で働く若者たちのことを思い出す。雨の中の横琴、雨水で清められた道は、街灯に照らされてとてもきれいに見える。ここは美しいだけでなく、活気に満ちている。☞

供图 / 苏文



# 傀 戏

## 傀劇 (人形劇)

供稿：广东外语外贸大学  
 広東外語外貿大学  
 作者：黄裕 黄裕  
 翻译：山建国 山建国



“有农民叫难又叫苦，黄河崩塌有（máo）人理……”一段熟悉而又沉郁顿挫的曲调将我藏在深处的记忆唤醒。夏末台风多发，周末空闲时，我给在故乡的奶奶打去问候的电话，忽然听到她那边的背景音有点嘈杂。

「農民が困難や苦しみを訴えているが、黄河は決壊しているのに誰も気にしていない」。なじみがあり、ずしんと重い一節が私の心の奥底にある記憶を呼び覚ました。夏の終わりになると台風が頻繁に発生するのだが、週末に時間がある時は、私は故郷にいる祖母に電話かける。すると、祖母の電話の向こうで何やら音がするのだ。

“阿婆，你又在听傀戏呢？”我开口问道。

「おばあちゃん、また傀劇を観ているの？」私はこう問いかけた。

“是啊，你阿婆我呀，最爱看傀戏了。现在想看傀戏越来越难喽，只能听着过过瘾了……”

「そうだよ。おばあちゃんは傀劇が一番好きだよ。でも今は観られる場所がどんどん減って、聴くくらいしかできないんだよ。」

循着奶奶的絮絮念，我的思绪飘回故乡。故乡现在是哪般光景呢？我只能依着模糊的记忆轮廓描摹、勾勒、上色。

おばあちゃんの愚痴を聞いていると、私は故郷に思いを寄せた。故郷は今どんな様子だろうか。私は淡い記憶を頼りに故郷を描写し、輪郭を作り、そして色をつけるしかなかった。

这个时节，在我的故乡——广东茂名高州，枇杷、柿子、柚子上市了。不少小贩在路边支起小摊，吆喝叫卖。小摊前的

树荫下有许多人，或坐着长椅摇着蒲扇乘凉，或站在一旁操着乡音聊天，好不自在。记忆里，远处依稀还会有一个裹着红布的轿子模样的小方车，人们把它围上两三圈，那方车就成了傀儡戏的戏台。

この季節になると、私の故郷である広東省茂名市高州市（訳注：茂名は地級市、高州市は県級市）では、びわ、柿、そしてゆずが店頭に並び、多くの商人が露店を出して、大きな声でこれらを売る。露店の木陰には人だかりができ、長椅子に腰かけてがまうちわで涼む者や、方言でおしゃべりをを楽しむ者など自由気ままである。記憶の中では赤い布に包まれたかごのような四角い移動式の車があり、その周囲を人々が二重三重で囲み、そこが傀儡劇の舞台となる。

傀儡戏，是“高州木偶戏”的别称，国家级非物质文化遗产之一。傀儡戏从明朝流传至今已历经400多年，成为高州的一个文化符号。高州木偶在幕后艺人的熟练操作下，不仅可以做出眨眼、摇头等简单动作，还可以做出喷火吐烟、翻滚打斗等高难度动作。配以高州白话和山歌曲调，傀儡戏很受当地人民的喜爱。

傀儡劇は「高州木偶劇」の別称であり、国の無形文化遺産のひとつである。傀儡劇は明の時代から現在まで400年余りの歴史があり、高州文化の象徴となった。高州木偶の人形遣いによる熟練の技により、傀儡劇はまばたきやうなずきなどの簡単な動作だけでなく、火や煙を吐く、回転や戦闘などの難易度の高い動作を表現することができる。ここに高州の白話や農山村で歌われる民謡などを組み合わせることで、傀儡劇は現地の人々にとても親しまれている。

但想演好傀儡戏绝非易事。演绎一场傀儡戏之前，木偶雕刻艺人需要精心制作木偶——一般会经历选料打坯、精雕细刻、精巧安装、上土打底、彩绘上色等诸多步骤。任何一个环节出现纰漏，木偶可能就做不到表情逼真、动作自然。然后便要由手艺人通过巧手操控，给木偶注入灵魂，再加以唱、做、舞、念、打、道白、音乐、锣鼓等各种演艺，才能组成一出精彩绝伦的傀儡戏。

しかし、傀儡劇での演技は決して簡単ではない。公演前には彫刻師が1体1体を心込めて制作する。一般的には原料選びと成型・乾燥、彫刻、組み立て、土台づくり、色付けなど多くの工程がある。どれかひとつにでもほころびがあると、人形が持つ人間さながらの表情や動きの自然さを表現することができない。そして、職人の絶妙な技で人形に魂を吹き込み、そこに歌唱、動作、舞踊、朗読、立ち回り、台詞、音楽、銅鑼や太鼓など様々な演技が加わることで、ようやくすばらしい傀儡劇を作り上げることができるのだ。



在我小的时候，傀儡戏很常见。傀儡戏的收入大多是看客打赏，因而一到节假日，傀儡戏便主动登场表演了，街头巷尾，锣鼓声响，好不热闹。老年人都特别钟情于这种戏剧，我由爷爷奶奶照看长大，对傀儡戏也很喜欢。年幼的我虽不能完全理解它的内容，但活灵活现的木偶很能吸引我。每次路遇傀儡戏表演，我都会在人群中驻足观看。傀儡戏深深渗透于高州人的生活，没有傀儡戏的节假日是不完整的。

私が幼い頃、傀儡劇はあちこちで観ることができた。傀儡劇の収入の大部分は観客からのチップであり、祝日が訪れると積極的に傀儡劇の演目が披露される。すると人々が集まり、銅鑼や太鼓が鳴り響いてとてもにぎわう。高齢者が特に傀儡劇を好むのだが、私は祖父母の手で育ったこともあり傀儡劇が好きだ。幼い私は傀儡劇の内容を完全には理解できなかったが、その躍動感あふれる人形に引き付けられた。道を歩いていて傀儡劇を見かけると、私は毎回人だけの中で足を止めて観る。このように傀儡劇は高州の人々の生活に深く浸透し、傀儡劇のない祝日はどこか味気ない。

那小小的一方匣子样的天地，隔开了真实世界与童话般的木偶世界。看着他们栩栩如生的表情动作，仿佛和我们一样，也有喜怒哀乐，也会经历悲欢离合。这种真实与虚幻交织的感觉给观众带来极大的感官刺激和内心震撼。

あの小さい箱のような場所に、実世界とかけ離れた、まるで童話のような人形の世界がある。人形たちの生き生きとした表情や動作を見ていると、人形たちにもまるで私たちと同じように喜怒哀楽があり、出会いや別れがあるように感じられる。そして、このような現実と想像が交じり合う感覚は、観劇者に究極の感覚的刺激と心を震わせる驚きを与えている。





可是，随着科学技术的不断发展，随着娱乐方式的越发丰富，我们的生活被按下加速键，傀戏落寞了。偶尔在街上看到，人们最多也只会感慨一句“哦，原来是傀戏”。少了观众，本就不稳定的收入更低了。在其低收入与较高技术要求面前，傀戏表演只能无奈地淡出人们的视线。如今，虽然国家已经将傀戏列入了非物质文化遗产，但随着老一代艺人的逐渐离世，新一代艺人的青黄不接，傀戏的传统剧目、曲调、表演技术等正面临消亡的危机。

しかし、科学技術が絶えず発展するにつれて娯楽がさらに充実し、私たちの生活は慌たしくなり、傀劇は物寂しくなりました。時折街中で見かけ最も人だかりができていても「ああ、傀劇か」となるのみだ。逆に、観劇者が減少すれば、ただでさえ不安定な収入がさらに減ってしまう。この低収入とハイテクの要求を前に、傀劇の演技は人々の前からフェードアウトしてしまった。確かに今は国が傀劇を無形文化遺産に登録したもの、先代の人形遣いが徐々にこの世を去り、世代交代も進まず、傀劇の伝統的な演目、節、表現技術などが今まさに絶滅の危機に瀕しているのだ。

如果傀戏能走进校园，让孩童们有更多的机会接触和了解；如果在傀戏中能融入更多现代流行元素，并能利用现代多媒体推广发展……或许在不久的将来，傀戏也能重焕生机。我真心盼望着那一天到来……

もし傀劇が学校に進出することができれば、子どもたちが傀劇に触れ、理解する機会をより多く得ることができる。また、現代的な要素をより多く取り込むことができ、現代のマルチメディアを活用して普及することができれば、恐らく傀劇は近い将来に息を吹き返すことができるだろう。私は心からその日が訪れることを願ってやまない。 ㊦





## 逐梦未来的粤港澳大湾区

未来を追いかける粤港澳大湾区

作者：百茶客 百茶客

翻译：山建国 山建国

广东是中国经济第一大省，是中国经济发展的领头羊，是中国开放程度最高、经济活力最强劲的区域之一，是感受当下中国经济发展和社会创新脉搏的前沿之地。

廣東は中国経済で最大規模を誇る省である。そして、中国の経済発展のけん引役であり、中国で最も開放的で最も経済の活力がある地域のひとつであり、現在の中国経済の発展及び社会イノベーションが脈打つ最前線である。



粤港澳大湾区第一次以整体形象进入世界眼帘，是2019年2月中国发布《粤港澳大湾区发展规划纲要》，规划明确提出广东、香港和澳门之间的“9+2”的城市群。这里的“9”是指广东省的9个城市，包括广州、深圳、珠海、佛山、惠州、东莞、中山、江门和肇庆，这里的“2”就是香港和澳门。如果在地图上将上述11个地方连起来，恰如一个倒立的U形，开口面向世界。粤港澳大湾区地理条件优越，“三面环山，三江汇聚”，具有漫长海岸线、良好港口群和广阔海域面，是建设国际一流湾区和世界级城市群的理想之地。

粤港澳大湾区として最初に世界の表舞台に登場したのは、2019年2月に中国が「粤港澳大湾区发展规划纲要」を発表した時である。この規画は広東、香港、そしてマカオの間で「9+2」の都市クラスターを形成することを明確に打ち出したものである。この「9」とは広東省内の9都市である廣州、深セン、珠海、仏山、惠州、東莞、中山、江門、肇慶を指し、

「2」とは香港及びマカオを指す。地図上で上記11都市を結ぶとU字を逆さにした形になり、世界に対して扉を開いているように見える。同区は地理的条件に強みがあり、「三面が山に囲まれ、3本の河が合流する」場所であり、果てしない海岸線、良好な港湾クラスター、広々とした海原がある。そして国際的に一流のベイエリア及び世界レベルの都市クラスターを建設するのに理想的な場所である。

回顾近代以来世界经济发展史，湾区地带是带动全球经济发展的重要引擎和引领新技术变革的先锋。它们以庞大的经济体量、宜人的环境和高效的资源配置能力成为带动世界经济发展的重要力量。粤港澳大湾区虽然处于起步阶段，但经济体量巨大，它有效借鉴世界上其他大湾区的发展经验，以其后发优势和增长态势明显而备受世界瞩目。按照规划，粤港澳大湾区不仅会进一步加深与内地的经济合作，还将在整个中国经济发



展中承担更重要的作用，成为引领中国经济发展和对外开放的重要力量。

近代の世界経済の歴史を振り返ると、バイエリアは世界経済が発展する重要なエンジンであり、技術イノベーションの先駆者でもある。そして、その巨大な経済規模、人にやさしい環境、そして資源の効率的な配置により、世界経済発展をけん引する重要なエネルギーになることができる。粤港澳大湾区は発展の第一歩を踏み出したばかりの段階だが、その経済規模は大きく、世界のその他のバイエリアが発展した経験を効果的に取り入れ、さらに後発ならではの強みと成長の勢いが顕著であることから、世界に注目されている。同区は計画に沿って中国本土との経済協力をさらに深めるだけでなく、中国经济全体の発展の中でさらに重要な役割を担い、中国经济の発展及び对外开放をけん引する重要なエネルギーとなるのである。

与其他大湾区相比，粤港澳大湾区11个城市之间由于存在社会文化、法律法规和市场发达程度等各方面差异，融合起来要更为复杂。当然，这种极具特色的环境也是一种优势，香港、澳门和珠三角9个城市可以借助各自优势担当起不同的角色。比如，香港是国际金融、航运、贸易中心和国际航空枢纽，有着高度国际化、法治化的营商环境，在金融发展方面可以发挥更大的作用。澳门是世界旅游休闲中心，在多元化交流

方面能够彰显更大的价值。而珠三角的9个城市是中国制造业极其发达的基地，也是内地对外开放的重要窗口，为粤港澳大湾区持续向好发展提供了更强的保障。

その他のバイエリアと比較すると、粤港澳大湾区内の11都市は社会文化、法律法規、そして市場の成熟度など様々な面で格差があり、その融合はさらに困難である。他方で、都市間の格差が大きい環境もひとつの強みであり、香港、マカオ、そして珠江デルタの9都市はそれぞれの強みで異なる役割を担うことができる。例えば、香港は世界金融、航空運輸、そして貿易の中心地であり、国際線のハブでもある。そして、国際化及び法治化の水準が高いビジネス環境を持ち、金融の発展により大きな役割を発揮することができる。また、マカオは世界のリゾートとレジャーの中心地であり、多様な交流でより大きな価値を発揮している。さらに珠江デルタの9都市は、中国の製造業が遂げるすさまじい発展の震源地であり、中国本土の对外开放における重要な窓口であり、大湾区の持続的な好転及び発展を担保している。

近年来，创新成为粤港澳大湾区发展的主要推动力。凭借着发达的外贸经济、活跃的创新创业氛围和不断优化的营商环境，粤港澳大湾区的创新综合能力得到了大幅度提升，处于世界领先水平。粤港澳大湾区将地区的科教资源优势、产业化优势以及国际化优势的充分结合，让创新与发展呈现出良好的正



向关系。同时，粤港澳大湾区除了拥有世界领先水平的制造业，还有新一代电子信息、绿色石化、智能家电等领域全球技术领先的科技公司。在2023年公布的世界财富500强企业中，粤港澳大湾区共有25家企业榜上有名。

近年、イノベーションが粤港澳大湾区の発展における主要な推進力となっている。成熟した対外貿易経済、活気ある創新創業（イノベーションと起業）の雰囲気、そして絶えず最適化するビジネス環境を活用することで、同区が持つイノベーションの総合力は大きく向上し、その水準は世界トップクラスに位置する。同区は現地の科学教育の資源、産業、そして国際化が持つ強みを存分に組み合わせることで、イノベーションと発展が正しい方向に進む関係にあるのだ。同時に同区は世界トップクラスの製造業以外にも次世代電子情報、グリーン石油化学、そしてスマート家電などの分野で世界の技術をリードするテクノロジー企業もある。さらに同区の企業のうち、計25社が2023年に発表されたフォーチュン500にランクインしている。

当然，除了经济发展，粤港澳大湾区还将建设成为宜居宜业宜游的“优质生活圈”。随着港珠澳大桥、广深港高铁、深中通道等工程的实施，粤港澳大湾区一体化程度进一步提升，大湾区“1小时生活圈”也基本形成。接下来，粤港澳大湾区通过制度创新，让区域内各城市在住房、教育、医疗等生活设施和服务方面加大共享力度，以整体合力来提升大湾区的国际竞争力。

もちろん、粤港澳大湾区は経済発展以外にも、居住・就労・観光に適した「優良生活圈」を建設する予定である。港珠澳大橋、広深港高鉄、そして深中通道などのプロジェクト実施に伴い、同区の一体化がさらに進み、ベイエリアの「1時間生活圈」が基本的に完成した。今後は制度面の革新が進むことで、同区内の各都市の居住・教育・医療等の生活インフラ及びサービスにアクセスしやすくなり、同区の総合力により国際的な競争力を向上させていく。



目前，粤港澳大湾区已成为中国经济高质量发展的示范区，其2022年经济总量超13万亿元人民币，表现非常出色，世界也通过粤港澳大湾区看到中国经济发展的韧劲。在以创新为时尚的氛围中，或许下一个世界级“硅谷”将出现在这里。将来，在建设国际一流湾区的进程中，粤港澳大湾区将会为世界带来更多的精彩。

現在、粤港澳大湾区はすでに中国経済の質の高い発展のモデル区となり、2022年の経済規模は13兆元を超えるなど著しい成果を挙げている。そして、世界は同区を通じて中国経済の発展の粘り強さを目の当たりにすることができるのだ。また、イノベーションを潮流とする雰囲気の中で、世界レベルの次なる「シリコンバレー」がこの地に誕生するかもしれない。国際的に一流のベイエリアを建設する過程の中で、同区が精彩に富む一面をより多く世界にもたらすだろう。🎨



# 我在墨西哥讲“粤港澳大湾区”的故事

## メキシコで紹介した「粤港澳大湾区」の物語

供稿：中山大学 中山大学

作者：许长青 許長青

翻译：山建国 山建国

2022年9月，我被任命为中山大学墨西哥尤卡坦自治大学孔子学院第四任中方院长。我所在的城市叫梅里达，位于尤卡坦半岛，临近墨西哥湾。梅里达给我的第一印象——既有现代化的气息，也有古典文明的底色，体现着古典与现代的融合。

2022年9月，私は中山大学メキシコユカタン自治大学孔子学院の第4代中国側院長に任命された。私のいる街はメリダと言い、ユカタン半島に位置し、メキシコ湾にほど近い。そして、この街には現代的な雰囲気がありながら、その根底には古代文明があり、古代と現代の融合を体現しているという第一印象がある。

但比起广州，梅里达显得格外“小”，而且出奇地“安静”。距离梅里达约30分钟高速车程的港口城市普罗格雷索（Progreso），是墨西哥尤卡坦州的一个大型邮轮港口，渔业、集装箱业发达，也是新兴的旅游度假胜地。这里风景优美，体现了湾区的独特魅力。身在其中，我不由地将“粤港澳大湾区”与之进行对比，并向同事介绍它的情况。

しかしメリダを広州と比較すると、とにかく「小さい」街であり、意外なほど「静か」であることが分かる。また、メリダから高速道路で30分のところにプログレスという港町が

ある。ここには大型クルーズ客船が停泊する港湾があり、漁業とコンテナ産業が発達しており、最近では観光リゾート地でもある。この風景は美しく、ベイエリアならではの魅力を表現している。そして、私はこの地に身を置くと、知らず知らずのうちに「粤港澳大湾区（グレーターベイエリア）」を引き合いに出して同僚にその状況を紹介した。

“湾区是一个地理学概念，也是一个经济学概念，更是一个文化概念。湾区以其独特的陆海地势、特殊的区位优势和稳健的发展态势，在全球经济活动中占据重要地位。湾区经济的发展更是对推动一个国家的经济增长、提升国际竞争力尤其是创新能力，具有重要意义。”

「ベイエリアは地理的な概念であるとともに、経済学概念でもあり、さらに文化的な概念でもある。ベイエリアは陸と海がある独特な地形、特殊な地理的優位性、そして着実な発展状況により、世界の経済活動で重要な地位を占めている。さらに、ベイエリア経済の発展は自国の経済成長を推進し、とりわけイノベーション能力における国際的な競争力を向上させる上で重要な意義がある。」

“中国的粤港澳大湾区是国际著名湾区。包括广东省的广州、深圳等九个城市，以及香港、澳门特别行政区。建设粤港澳大湾区是中国国家战略，未来将建设成为国际一流湾区，着力打造充满活力的世界级城市群。”

「中国の粤港澳大湾区は国際的に著名なベイエリアであり、そこには広東省の広州や深センなど9都市及び香港特别行政区とマカオ特别行政区が含まれている。この大湾区建設は中国の国家戦略であるが、今後は国際的に一流のベイエリアとなり、活力に満ち溢れた世界レベルの都市クラスターを建設することに注力していく。」



## 结业典礼上的湾区故事 修了式で話題になったベイエリア



尤卡坦自治大学 2023 年结业典礼优秀学员合影  
ユカタン自治大学 2023 年修了式で優秀学生による記念撮影

尤卡坦自治大学孔子学院有一个优良的传统——每学年结束都要举办结业典礼并评选出本学年优秀学员。在今天的毕业典礼上，我以徐志摩的诗歌《再别康桥》和两首中国歌曲《再回首》《明天会更好》为线索，将中国文化与孔院学习经历很好地结合起来。最后合影留念时，我问学生“为什么喜欢中文”，学生的回答令人感动：“中文虽难，但在今后的生活和事业发展

中非常有用。”“我希望去中国留学。”“我希望与中国进行国际贸易。”我说：“广州欢迎你，粤港澳大湾区欢迎你。”

同大孔子学院では各学期が終わると修了式を開催して、その学期の優秀学生を選出するという良き伝統がある。そして、私は今年の卒業式で徐志摩の詩「再別康橋」と、中国の楽曲「再回首」「明天会更好」を手掛かりに、中国文化と孔子学院での学習経験をうまく組み合わせた。そして、最後の記念撮影セッションで学生たちに「なぜ中国語が好きなの？」と質問すると、そ

の回答は「中国語は難しいけど、これからの生活やビジネスにとっても役立つため」「中国に留学に行きたいから」「中国と貿易したいから」といずれも胸を打たれるものであった。そして私は「広東省も、粤港澳大湾区も、みんなを歓迎します」と伝えた。

我告诉学生：“一流的湾区拥有一流的大学，这是国际湾区建设的成功经验。”我给他们介绍世界几大著名湾区的一流大学，也告诉他们粤港澳大湾区高校整体实力雄厚，香港、广

州、深圳拥有如香港大学、香港科技大学、香港中文大学、香港城市大学、香港理工大学、中山大学、华南理工大学等世界知名学府。其中，中山大学、华南理工大学位于广州，欢迎他们来游学与交流。

私は学生たちに「一流のベイエリアには一流の大学があるが、これは国際的なベイエリア建設の成功体験である」と伝えた。私は彼らに世界有数の著名

なベイエリアにある一流大学を紹介した上で、粤港澳大湾区の大学もまた全体的に確かな実力を持ち、香港、広州、そして深センなどにある香港大学、香港科技大学、香港中文大学、香港城市大学、香港理工大学、中山大学、華南理工大学などの世界的に有名な大学があることを紹介した。その中で、中山大学と華南理工大学は広州に位置し、遊学や交流を歓迎している。

## 学术交流中的湾区故事 学术交流におけるベイエリアの物語

尤大孔院理事会成员Luis Ramirez Carrillo教授，是尤卡坦历史学家，也是一位研究中国问题的专家。他曾到访中山大学珠海校区，那里依山傍水，非常漂亮，他很期待能再次拜访。

同大孔子学院的理事会メンバーであるルイス・ラミレス・カリージョ教授はユカタン史を専門とする歴史家であり、中国問題を研究する専門家でもある。彼はかつて中山大学の珠海キャンパスを訪れたことがある。そこは山を背に川に臨み非常に美しく、彼は再び現地を訪れることを楽しみにしている。



时任校长 José de Jesús Williams 与 Luis Ramirez Carrillo 教授为展览开幕剪彩。当时的 Joze de Jesus Williams 校长与 Luis Ramirez Carrillo 教授による展覧会の開幕テープカットの様子。

## 戴维斯杯： 体育场上的湾区故事 デービスカップ：グラウンドでのベイエリアの物語

2023年戴维斯杯（Davis Cup）于9月16日在梅里达举行。一位当地朋友、孔子学院的学生 Enrique Morales 邀请我观看墨西哥队与中国队的比赛。落座后，朋友们谈起了中国的发展。Morales 说他是做贸易的，与中国交流频繁，为了更好地发展，特意选择每周六来孔子学院学习中文。交流中，他

表示孔院的中文教师特别厉害，使他收获颇多。随后他给我展示课堂视频中中国突飞猛进的基础建设，并感叹北京、上海、广州的基建水平令人震撼。紧接着他聊起了粤港澳大湾区。

2023年のデービスカップが9月16日にメリダで開催された。私の現地の友人であり、孔子学院の学生でもあるエンリケ・



2023年戴维斯杯在梅里达举行

2023年戴维斯杯在墨西哥举行

いで発展している。こうして粤港澳大湾区の建設が日進月歩で進んでいることにモラレスは驚き感心しているのだ。

作为孔院的一员，我很高兴能在墨西哥听到粤港澳大湾区的故事，希望自己能帮助更多的墨西哥人学好中文，帮助更多墨西哥人到中国寻梦，同时进一步了解、学习国外湾区的建设，以促进中墨两国的人文交流。

私は孔子学院の一員としてメキシコで粤港澳大湾区の物語を耳にすることができてとても嬉しく思う。ぜひ私自身もメキシコの人々が中国語を学び、中国で夢を探し、さらに外国のバイエリアの建設について理解を深めて学ぶことで、中国とメキシコの人文交流促進の一助を担いたい。孔

供图 / 许长青

モラレスが私をメキシコ対中国の試合に招待してくれた。席に着くと、彼らの話題は中国の発展に及んだ。モラレスは貿易業に携わり中国との交流を頻繁に行っているため、さらなるスキルアップのために毎週土曜日に孔子学院に足を運び中国語を学んでいる。交流の中で、モラレスは「孔子学院の教員はとても素晴らしく、多くのことを学んだ」と話した。そして、授業で使用した動画をその場で見せてくれたのだが、その中で中国の凄まじいインフラ建設や、北京、上海、広州などのインフラ建設の水準に驚いたそうだ。続いて、粤港澳大湾区にも話題が及んだ。

他惊叹于粤港澳大湾区建设的日新月异：湾区“血脉”日益畅通，港珠澳大桥、广深港高铁、南沙大桥开通，深中通道建设提速，大湾区正迈入“一小时生活圈”；港口群、机场群密集，通达全球各地；科技创新高地迅速崛起，逾四万家高新技术企业蓬勃发展……

バイエリアの「血脉」が日々繋がり、港珠澳大橋、広深港高鉄、そして南沙大橋が開通し、深中通道の建設が急ピッチで進み、大湾区が「1時間の生活圈」になるべくまい進している。そして、港湾クラスター及び空港クラスターを通じて世界各地と繋がっている。さらに科学技術イノベーションが急速に発展し、4万社あまりのハイテク企業がすさまじい勢





## 纳赛尔博士的广东情缘

### ナセル博士の広東愛

---

作者：李昕阳 李昕陽

翻译：章胤杰 章胤傑

“你系广东边度人?”

「ご出身は広東のどこですか?」

一句标准的粤语从一位非洲友人的口中说出时，我深感震惊。自从一年前来到非洲摩洛哥哈桑二世大学孔子学院，我已经许久没有听到过如此亲切的乡音了，而且如此标准的发音竟是出自当地的朋友——纳赛尔博士。纳赛尔博士毕业于中山大学，是非洲中国合作与发展协会（Africa China Cooperation Association for Development—ACCAD）的主席。他热衷于参加中摩经济文化交流的各项活动，在孔子学院的书法比赛上、在中国援摩医疗队的活动中和“汉语桥”世界大学生中文比赛现场，都有他活跃的身影。

アフリカ人の友人からネイティブのような広東語を聞いたとき、私は非常に驚いた。一年前にアフリカモロッコのハッサン2世カサブランカ大学孔子学院に来て以来、この懐かしい言葉を聞いたのは久しぶりで、しかもこれほど正確な発音を地元の友人であるナセル博士から聞いたのだ。ナセル博士は中山大学の大学院を修了し、アフリカ中国開発協力協会（Africa China Cooperation Association for Development、ACCAD）の会長を務めている。彼は、中国とモロッコの経済・文化交流活動に熱心に参加し、孔子学院の書道大会、中国医療チームのモロッコ援助活動や「漢語橋」世界大学生中国語コンテストなどで活躍していた。

在交谈中，我惊叹于他对广东的了解，这绝不是浮于表面的泛泛之谈。纳赛尔的“中国通”始于他对中国武术和文化的热爱。青少年时期，他除了痴迷中国武术，还学习中国书法，学用筷子、观看中国文艺歌舞团在摩的演出……终于，在1995年，18岁的纳赛尔飞往中国，开始了他20余年的中国之行。

コミュニケーションを通して、私は彼の広東に対する理解が、決して表面的なものではないということに感心した。ナセルの中国に関する知識の蓄積は、中国武術と文化への愛から始まった。青少年時代、彼は中国武術に夢中になっただけでなく、中国の書道を習ったり、箸の使い方を学んだり、モロッコにおける中国文艺歌舞団の公演を観たりした。そして1995年に、18歳のナセルはついに中国に渡航し、20数年にわたる中国の旅を始めた。



2021年，纳赛尔用中文发表了著作《摩中合作60年：1958—2018》，并有阿拉伯文和法文两个译本。

ナセルが中国語で書いた『モロッコと中国の協力の60年間：1958-2018』（2021年出版）。アラビア語版とフランス語版あり。



2001年，他在北京完成学业后，又开启了新征程——“我喜欢粤语，爱看成龙的电影，爱听谭咏麟的歌”，“这个国家正发生着巨大变革，广东是最有活力的前沿地带”。于是他毅然决定前往广东。

2001年、彼は北京での学業を終えると、新たな道を歩み始めた。彼は、広東語が好きで、ジャッキー・チェンの映画を見たり、アラン・タムの歌を聴いたりすることが好きだという。「中国は大きく変わろうとしており、広東はその最前線で活気に満ちている」ことから、彼は広東に行くことを決めた。

他在广州做过留学服务工作，在深圳合伙创过业，还在中山大学读完硕博。“广东是一片神奇的热土！”这是纳赛尔对广东的评价。他喜欢这个充满活力的地方，年轻人步履匆忙且目标坚定，整个广东都显得欣欣向荣。每逢节假日，纳赛尔经常约同学到广东各地走访，对深圳、东莞、中山、珠海、潮州、河源、湛江等城市都十分了解。他喜欢上了广东人敢为人先的创新精神、脚踏实地的务实精神和奋发向上的学习精神。

ナセルは、広州で留学サポートの仕事や、深センで共同創業をしたことがあり、また中山大学の大学院で修士課程と博士課程を修了した。広東に対する評価を聞くと、彼は「広東は本当に素晴らしいところだ！」と絶賛し、この活気に満ちた町が好きだという。若者はみな明確な目標を持って生き生きと働いており、広東全体の繁栄している姿はどこでも目に入るのである。休日になると、彼はよく学生と一緒に広東各地を訪れ、深圳、東莞、中山、珠海、潮州、河源、湛江などの都市をよく知っている。彼は、広東人の先を行く革新的な精神、地に足をつけた実践的な精神、そして向上心の強い学習精神に惹かれた。



“希望粤企进入摩洛哥。”纳赛尔如是说。2016年，纳赛尔回到摩洛哥。2018年，他组织成立了非洲中国合作与发展协会（ACCAD），向阿曼等阿拉伯国家宣传推广中国沙漠治理等经验，还多次接受各大媒体的采访，在知名媒体上发文，探索深化摩洛哥和中国、非洲和中国互利合作的新路径。他认为，摩洛哥的地理、政治、基础设施建设等各方面条件突出，可以成为粤企进入欧非及阿拉伯国家的桥梁和枢纽。他也希望尽一份力，助力粤企打开新兴市场大门，实现互惠共赢。

ナセルは、広東企業がモロッコに進出するように願っているという。2016年、彼はモロッコに帰った。2018年には、アフリカ中国協力発展協会（ACCAD）を設立し、砂漠化対策などに関する中国の経験をオマーンなどのアラブ諸国に紹介したり、大手メディアのインタビューを受け、有名メディアに記事を掲載したりするなど、モロッコと中国、アフリカと中国の相互協力の新たな道を探っている。彼からみれば、

モロッコは地理的、政治的、インフラなどの面で優れているため、広東企業がヨーロッパ、アフリカ、アラブ諸国に進出するための架け橋とハブになれる。彼はまた、新興市場へ進出する広東企業をサポートし、ウィンウィンを達成するために、自分の役割を果たそうとしている。

2022年1月5日，摩洛哥成为北非地区首个与中国签署共建“一带一路”合作规划的国家，而广东在中国的“一带一路”建设，尤其是“21世纪海上丝绸之路”建设中具有独特的优势，因此两地的合作将迎来新的机遇。两边都“好似故乡”的纳赛尔博士每每在做自我介绍时，都会自豪地强调“我毕业于广东的中山大学！”这份对广东的熟悉与热爱，已成为他长期从事国际事务合作交流的重要动力之一。

2022年1月5日、モロッコは北アフリカで中国と「一带一路」建設協力計画に調印した最初の国となった。広東省は中国の「一带一路」、特に「21世紀海上シルクロード」の建設において独自の優位性を持っているため、両者の協力は新たなチャンスをもたらすことになるだろう。広東を第二の故郷とするナセル博士は、自己紹介をするたびに、広東の中山大学を卒業したことを誇らしげに強調する。この広東への親しみと愛情は、彼が長い間国際協力と交流に携わってきた重要な原動力の一つとなっている。 ㊟

供图 / 李昕阳



# 电影文化精彩纷呈

## ——中国（广东）影展活动花絮

### 盛り上がる文化の祭典

## ——中国（広東）映画祭おさらい

供稿：中山大学 中山大学

作者：冯伟乐 馮偉樂

翻译：韩宇 韓宇

2023年8月18日、南开开普敦大学孔子学院成功举办了中国（广东）电影展映活动。在开幕致辞中，开普敦大学国际处处长蒋鲲腾博士（Dr. Quinton Johnson）表示，电影是一种文化传播媒介，通过该活动，开普敦大学国际处将进一步拓展和丰富中南双方在不同层面、领域的文化交流。

2023年8月18日、南アフリカのケープタウン大学孔子学院では、中国（広東）映画祭が開かれた。同大学国際部部長を務めるキントン・ジョンソン博士（中国名：蒋鲲騰）はオープニング・セレモニーで挨拶を行い、「映画は異文化コミュニケーションの媒体であり、本学国際部は今回のイベントを通じて、多次元・多分野にわたる中国と南アフリカの2国間の文化交流を更に拡大・充実していきたい」と意気込みを見せた。



蒋鲲腾博士致欢迎辞

キントン・ジョンソン博士によるオープニング・セレモニーでのご挨拶



广东省电影局局长崔朝阳提出，南非和广东在电影制作领域的合作蕴藏着新的机遇，他真诚欢迎南非电影人和影视企业到广东创作拍摄、落户发展。

広東省映画局の崔朝陽局長は、「南アフリカと広東省は映画の共同製作において、大きな可能性を秘めているため、それに携わる南アフリカの企業や関係者たちが、今後広東省に進出し、映画の製作や撮影に取り組んでくれることを心より楽しみにしている」と期待を寄せた。



崔朝阳先生讲话  
崔朝陽局長のご挨拶

孔子课堂的学生代表莱拉 (Ongezwa Mlata) 为大家呈现了一场引人入胜的中文影视剧配音及舞蹈表演。莱拉对《甄嬛传》的配音惟妙惟肖，表演的传统舞蹈更是令人陶醉，她的精彩演出展现了南非青少年对中国文化的兴趣和热爱。

孔子教室の学生代表であるレイラ (Ongezwa Mlata) 氏は、アフレコとダンスを披露し、会場を魅了した。中国ドラマ『甄嬛傳 (日本名: 宮廷の諍い女)』のアフレコは本物を彷彿させ、一方の伝統舞踊も見どころ満載。その見事なパフォーマンスから、南アフリカの若者が中国の文化に対する関心と情熱が伝わってきた。



莱拉表演中文影视剧配音及舞蹈  
レイラ氏が中国ドラマのアフレコとダンスを披露

活动上还放映了电影《雄狮少年》。这部电影讲述了一位广东少年的励志寻梦之旅，精彩地描绘了主人公坚韧不拔的毅力和追求梦想的决心，引发了来自不同文化背景的观众强烈的共鸣。

当日公開された映画『ライオン少年』は、広東省の田舎町に暮らす少年が伝統芸能である獅子舞の演者を夢見る熱き物語を描く長編アニメーションだった。主人公が厳しい現実につつかりながらも、自らの人生を切り拓き、大きく成長していく姿に、異なる文化的背景を持つ観客からも強い共感呼んだ。



放映影片《雄狮少年》  
映画「ライオン少年」が公開



放映结束后，主办方别出心裁地为观众们准备了丰富多彩的中国传统文化体验活动。大家不仅可以在现场品尝正宗的中国点心、试穿中国旗袍，还能体验舞狮，感受中国传统文化的魅力。

上映後、観客向けの体験イベントも多数用意された。その場で、本格的な点心を味わい、チャイナドレスを試着し、獅子舞に挑戦することもできるので、中国の伝統文化の魅力に触れる絶好の機会となった。 



观众体验舞狮文化  
観客たちが伝統の獅子舞に挑戦

供图 / 谢军

# 动态播报

## 动向速報

### 中国国际中文教育基金会 工作团出访泰国、柬埔寨 和马来西亚

中国国際中文教育基金会  
一行がタイ、カンボジア、  
マレーシアを訪問

作者：中国国际中文教育基金会  
中国国際中文教育基金会  
翻译：山建国 山建国



2023年10月25日至11月3日，中国国际中文教育基金会理事长杨卫应率团出访泰国、柬埔寨和马来西亚。这是中国国际中文教育基金会成立以来的首次出访，旨在主动深入海外孔子学院和孔子课堂，优化孔子学院的品牌运营。

2023年10月25日から11月3日、中国国際中文教育基金会の楊衛理事長が招きに応じて、団を率いてタイ、カンボジア、そしてマレーシアを訪問した。これは同基金会在設立してから初めての海外出張であり、海外の孔子学院及び孔子課堂を自ら視察することで、孔子学院ブランドの運営を最適化することが目的である。

工作团在泰国访问了五所孔子学院（课堂）的外方合作机

构，与海上丝路孔子学院（Maritime Silk Road Confucius Institute）、博仁大学（Dhurakij Pundit University）、朱拉隆功大学（Chulalongkorn University）、华侨崇圣大学（Huachiew Chalermprakiet University）、易三仓大学（Assumption University）以及明满学校（Sawangboriboonwittaya School）相关负责人举行会谈。

一行はタイで5カ所の孔子学院（課堂）の現地パートナーを訪問し、海上シルクロード孔子学院、トゥラキットバンディット大学、チュラロンコン大学、ファチアオチャルームプラキアット大学、アサンブション大学、そして明満学校（Sawangboriboonwittaya School）の幹部と会談した。





工作团出席第十二届“诗琳通杯”泰国大学生中文演讲比赛开幕式。

一行は第12回「シリントーン杯」タイ大学生中国語スピーチコンテストの開幕式に出席した。

工作团走访柬埔寨首家孔子学院——王家研究院（Royal Academy of Cambodia）孔子学院，了解柬埔寨中文教育发展情况。

一行はカンボジアで最初に設立された孔子学院であるカンボジア王立アカデミー孔子学院を訪問し、現地の中国語教育の発展状況を考察した。



工作团访问马来西亚期间，走访马来亚大学（University of Malaya）与彭亨阿苏丹阿都拉大学（Universiti Malaysia Pahang Al-Sultan Abdullah），了解两校开办的中文特色课程与中马高校交流合作项目。

一行はマレーシアの訪問期間にマレーシア大学とマレーシア・パハン・大学・アル・スルタン・アブドゥラ現代言語センターを訪問し、両校が実施する中国語の特色ある授業及び中国とマレーシアの高校による交流協力プロジェクトについて考察した。📌



## 《孔子学院》征稿函

《孔子学院》由中国国际中文教育基金会主办、上海外国语大学协办，拥有标准国际连续出版物刊号（ISSN）和中国国内统一刊号（CN），本刊为双月刊，有中英、中法、中西、中俄、中德、中意、中葡、中阿、中泰、中韩、中日 11 个中外文对照版，面向全球发行。

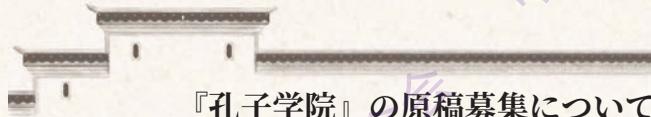
《孔子学院》设有“文化视窗”“汉语学习”“当代中国”和“孔院链接”栏目。“文化视窗”着重介绍中国不同地区风俗民情、特色文化和非遗（物质）文化传承等；“当代中国”旨在展示当地的最新发展，呈现中国百姓的日常生活、流行与时尚。2024 年拟依序介绍山东省、湖北省、浙江省、甘肃省、内蒙古自治区和福建省。“汉语学习”关注国际中文教与学的方方面面；“孔院链接”以汉语教师和学习者为主，聆听他们汉语教与学的故事。

### 投稿须知：

1. 文稿完整，包括题目、正文、署名和作者简介及联系方式。
2. 文字简洁，突出叙事性、趣味性和文化性，字数以 800 - 2500 为宜，中文、外文、中外文对照皆可。
3. 欢迎提供配图和图片说明，图片大小不低于 3MB，分辨率为 300dpi 以上，单独以附件形式发送。
4. 咨询、投稿邮箱：ci.journal@ci.cn。编辑部将在收稿 10 个工作日内予以回复。

免责声明：投稿稿件要求原创、首发，稿件中不得含有任何违法内容，不得侵犯他人名誉权、隐私权、商业秘密等合法权益，否则引发的法律责任由投稿人承担。一经投稿，即视为作者同意将作品多语种的修改权、复制权、汇编权、翻译权、信息网络传播权及电子数码产品版权等著作权（署名权、保护作品完整权除外）在全球范围内转让给编辑部。

《孔子学院》编辑部



### 『孔子学院』の原稿募集について

『孔子学院』は、中国国際中文教育基金会在上海外国語大学の協力を得て発行する刊行物です。本誌は国際標準逐次刊行物番号（ISSN）と中国国内統一刊行物番号（CN）を持ち、グローバルに展開されています。隔月刊行の本誌には、中国語と英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、アラビア語、タイ語、韓国語および日本語などの 11 カ国語との対照版があります。

本誌には主に、「文化ウインドウ」「中国語学習」「当代中国」「孔院リンク」という 4 つのコラムがあります。

「文化ウインドウ」では、中国の地域ごとに異なる特色ある文化や無形文化遺産などを重点的に紹介します。「当代中国」では、現地の最新の発展状況を紹介すべく、中国の人々の日常生活、流行、そしてファッションを取り扱います。2024 年は、**山東省、湖北省、浙江省、甘肃省、内モンゴル自治区、そして福建省の順で紹介する予定です。**

「中国語学習」では、海外で展開される中国語教育の現場のあらゆる側面に焦点を当てます。「孔院リンク」では、中国語教師や学習者を中心に、中国語を「教える」「学ぶ」ことに関するエピソードを伺います。

### 執筆要領

1. 原稿は、タイトル、本文、署名、著者プロフィールと連絡先を含む完全なものであること。
2. 明確なテーマと構成を持ち、簡潔な文章で物語、楽しさ、文化の要素を際立たせること。
3. 字数は 800 ~ 2500 字。中国語、外国語、中国語 / 外国語対照のいずれも可。
4. 説明文（キャプション）付きの写真提供を歓迎。写真の容量は 3MB 以上、解像度 300dpi 以上のもので、電子メールの添付ファイル形式で送付すること。
5. お問い合わせ、投稿用メールアドレス：ci.journal@ci.cn。編集委員会は、原稿を受領後、10 営業日以内に返信します。

免責事項：投稿はオリジナルで初公開のものに限る。違法な内容を含んでいたり、他人の名誉、プライバシー、そして商業秘密などの法的権利や利益を侵害したものでない作品に限り、これらに起因する法的責任は投稿者が負う。また、原稿の提出をもって投稿者は内容の修正、複製、編集、翻訳、インターネット上での情報発信、そしてデジタル製品などの著作権（氏名表示権と作品の完全性を保護する権利を除く）を『孔子学院』編集委員会に対して全世界の範囲で譲渡することに同意するものとする。

『孔子学院』編集委員会

敬请关注  
孔子学院媒体矩阵！

12种语言说  
“你好”



孔子学院  
抖音号



孔子学院  
微信公众号



孔子学院  
微博



孔子学院  
全球网站 ci.cn



孔院人的云上家园

RMB 16 / JPY 550

ISSN 1674-9693



1.1 >